

# 年 報

第 35 号

令和三年度  
(2021 年度)

大阪がん循環器病予防センター

年

報

第三十五号

令和三年度(二〇二一年度)

大阪がん循環器病予防センター

## はじめに

長く続いた新型コロナ対策も本年5月8日から感染症予防法の2類から5類に指定替えされ、季節性インフルエンザと同じ取り扱いとなる。ある意味では普段の日常生活に戻り、ほっとした感もあるが、決してコロナ感染が消失したわけでもなく、やはり感染に注意はしなくてはならない。当センターの受診者については引き続きマスク着用や手指消毒をお願いしている。街にあふれる観光客や人々の動きには、一抹の不安を覚えながら第9波が起こらないことを祈るばかりだ。

さて、当センターにおける検診受診者数は新型コロナの影響からここ数年低迷していたが徐々に回復しつつある。中でも胃内視鏡や腹部エコー検診の要望も増えつつある。しかしながら大阪府全体としてのがん検診の受診率は依然として全国でも低い状態にある。そのため10月のがん予防月間に合わせて、大阪府、大阪市や大阪府医師会などと共催で、昨年は肺癌に関する講演会を行った。また当センターのホームページ上で個々のがんについてそれぞれの専門家による解説や予防の大切さを公開した。この試みに対しては、相当の反響が見られ、本年も続けるつもりである。

精度管理センターについては、大阪府の委託を受け府内各市町村検診の実態把握に努めるとともにと検診率を上げるための相談に乗るとともに、精検受診率の向上を目指して助言指導を行った。

循環器予防事業については、本年4月より大阪健康安全基盤研究所に所管替えがなされたため、昨年度の報告が最後となるが、地域や職域の検診データの解析を通じて、健康増進のためのツール開発や国保のビッグデータの分析をおこなった。

ここに令和3年度の実績を詳しくまとめ掲載したので参考にさせていただければ幸いです。

令和5年3月

公益財団法人 大阪府保健医療財団

理事長 高 杉 豊

# 目 次

## 総 括 編

I 概 要	1
1 大阪がん循環器病予防センターの沿革	3
2 がん予防検診部門(旧大阪がん予防検診センター)のあゆみ	4
(1) 設 立 趣 旨	4
(2) 沿 革	5
3 循環器病予防部門(旧健康科学センター)のあゆみ	6
(1) 設 立 趣 旨	6
(2) 沿 革	6
II 管 理	7
1 組 織	9
2 理事会・評議員会等の開催状況	10
3 評議員・役員名簿	11
4 幹部職員・職員数	12
5 主要事業開始日	13
6 施設認定および職員の認定資格	14
7 施 設 概 要	15
8 主要備品一覧表	18
9 会 計	24
III 検診・健診事業	27
1 がん検診事業	28
(1) 胃がん検診	30
(2) 子宮がん検診	32
(3) 乳がん検診	34
(4) 肺がん検診	36
(5) 大腸がん検診	37
2 総合健診	38
3 所外健診	39
4 検 査	40
5 医療機関との連携	42
6 精度管理と研修	43
7 循環器病予防活動	46
IV 広 報 活 動	49
1 概 要	50
2 がん予防キャンペーン大阪2021	50
3 オンライン市民公開セミナー	50

4 講 師 派 遣	53
5 そ の 他	54
V 受診者満足度調査	55
1 概 要	56
2 アンケート結果についての対応	57
VI 研究及び研究支援	59
1 概 要	60
2 国などの研究班への参加	60
3 各種役員・委員	61
4 学会及び学術集会主催	62
5 学会発表及び学術講演	62
6 研究論文・著書	66
7 受賞及び表彰	70
8 大阪がん予防対策基金	71

---

資 料 編

---

VII がん検診結果集計資料	79
1 胃 が ん 検 診	
(1) 胃がん検診実績表（施設検診・車検診号車別）	80
(2) 胃がん検診結果集計表	81
(3)～(6) 胃がん検診結果集計表（性・年齢階級別）	82
(7) 胃がん精検機関別精検受診数	86
(8) 市町村別胃がん検診精密検査機関	87
2 子 宮 が ん 検 診	
(1) 子宮がん検診結果集計表	88
(2) 子宮がん検診結果集計表（年齢階級別）	89
(3) 子宮がん精検機関別精検受診数	90
(4) 市町村別子宮がん検診精密検査機関	91
3 乳 が ん 検 診	
(1) 乳がん検診結果集計表	92
(2) 乳がん検診結果集計表（年齢階級別）	93
(3) 乳がん精検機関別精検受診数	94
(4) 市町村別乳がん検診精密検査機関	95
4 肺 が ん 検 診	
(1) 肺がん検診結果集計表	96
(2) 肺がん検診（CT）結果集計表（性・年齢階級別）	97
(3) 肺がん検診（X線）結果集計表（性・年齢階級別）	98

5 大腸がん検診	
(1) 大腸がん検診結果集計表	99
(2)～(5) 大腸がん検診結果集計表(性・年齢階級別)	100
(6) 大腸がん精検機関別精検受診数	104
(7) 市町村別大腸がん検診精密検査機関	105
編集後記	106

# 總 括 編



# I 概 要



## 1 大阪がん循環器病予防センターの沿革

大阪がん循環器病予防センターは、大阪がん予防検診センターと大阪府立健康科学センターとの統合により平成24年4月1日に発足致しました。

これら2施設の設立の経緯を辿りますと、両者共に大阪府立成人病センターの設立当初からの事業に関わっています。

大阪府立成人病センターは、大阪府の成人病予防行政の一環として、昭和34年9月に、高血圧、心臓疾患、がんなどのいわゆる成人病の予防、早期発見およびこれらの調査、研究等を行い、府内における成人病に関する医療水準の向上を図るための中核施設として設置されました。(大阪府立成人病センター設立の趣旨より抜粋) この目的のために、成人病センターでは設立当初より循環器集団検診事業を、昭和36年より胃集団検診事業を開始しました。

その後、昭和62年に(財)大阪がん予防検診センターが設立され、胃検診部門の検診車集検、施設集検業務が移管されました。

また、平成13年には大阪府立健康科学センター((財)大阪府保健医療財団)が設立され、循環器集団検診事業が移管されました。

平成24年に両センターが統合され、昭和30年代から続けられてきた、大阪府におけるがん予防事業と循環器病予防事業を、再びひとつの施設で行うこととなりました。

以下に統合までの両施設の沿革を掲載します。

## 2 がん予防検診部門(旧大阪がん予防検診センター)のあゆみ

### (1) 設立趣旨

がんによる死亡は、年々増加しており、我が国では昭和56年以降死因順位のトップを占めつづけております。この傾向は人口構造の高齢化に伴い今後ますます増加するものと予想され、がん制圧は我が国のみならず人類共通の課題となっております。

大阪府でも昭和46年以降死因のトップを占め、現在、がんで亡くなる人は年間1万2千名を越え、その数は今なお年々増加しております。また、がんは主として中高年齢層をおそい、その及ぼす影響は、本人や家庭ばかりでなく社会にとっても大きな問題であります。このようなことから、がんに対する住民の不安は大きなものがあり、また、がん対策に強い期待がかけられております。

一方、近年の医療の長足の進歩によって、がんについても早期に発見し適切な治療を受ければ、その殆どは治るようになっております。国においても、老人保健事業としてがん検診の一層積極的な推進を図るほか、対がん10か年総合戦略を策定し、がんの本態解明を目指すなど、がん対策には特に力を入れつつあります。

このような状況に応じ、がん対策をより効果的に推進するためには、地域医療機関、高度医療機関、行政等が機能・特色を生かして一層の連携を図り、がんの早期発見を促し、早期治療に結びつけるとともに、がん対策に関し府内全体の水準の向上を図る必要があります。また、がん予防についての府内全域にわたるきめ細かい対応が必要であります。

このようなことから、社団法人大阪府医師会、大阪府が中心となり、府内におけるがん予防活動の推進体として、財団法人大阪がん予防検診センターの設立を検討してきましたが、さらに大阪市も参画・出捐して法人の発足を図り、がん予防に関する知識の啓発普及、各種のがん検診、細胞検査、専門技術者に対する各種の研修、調査研究、その他がん予防に関する必要な事業を行い、今後の高齢化社会に向けてますます重要となる府民の健康の保持増進と地域保健の向上に寄与しようとするものであります。

(「設立趣意書」より)

## (2) 沿 革

昭和61年10月	財団法人大阪がん予防検診センター 設立認可	平成元年9月	「がん予防キャンペーン大阪'89」 コンピューターによる危険度判定と 保健指導、街頭・店頭キャンペーン、 がん予防テレホンサービスキャブテン システムによるがん予防情報サービス
昭和62年4月	胃がん検診：車検診開始（間接X線 撮影装置10台） 肺がん（所外）検診：4市3町の住民 対象に実施	平成5年2月	「創立5周年記念講演会」開催
4月	大阪がん予防検診センター（建物） を引継ぐ	10月	第47回保健文化賞受賞
5月	細胞診検査、組織診検査業務開始 大阪がん予防検診センター（附属診 療所）開所式典 子宮がん検診：車検診開始（細胞診 検査1台） 三笠宮寛仁親王殿下御夫妻御視察 胃がん検診：施設での集団検診開始 （間接X線撮影装置2台）	平成9年4月	総合健診：施設において大阪市住民 を対象に開始
6月	子宮がん検診：施設での一次、二次 検診開始	6月	総合健診：車検診 職域を対象に 開始（1台）
10月	検診結果のコンピュータ処理開始 胃がん検診：施設での精密検査開始 （胃X線直接撮影装置「FCR 対応」 1台、内視鏡） 乳がん検診：施設での一次検診（視・ 触診）二次検診開始 （乳房X線撮影装置「FCR 対応」1台、 超音波診断装置1台）	11月	施設において禁煙クリニックを開始
11月	「がん予防キャンペーン大阪'87」 街頭・店頭キャンペーン、世界の がん予防ポスター展 「喫煙と健康教育大阪セミナー」開催	平成13年4月	乳がん車検診：超音波検診車をマン モグラフィ検診車に変換、検診開始
昭和63年2月	第1回禁煙コンテスト開催	平成14年6月	肺がん検診：精密検査でヘリカルCT 検 査を開始
3月	昭和62年度大阪がん予防対策基金事 業研究助成決定（3件）	平成15年3月	がん予防クリニック開設
4月	大腸がん検診：一次検診開始（便潜 血検査）	平成17年4月	肺がん検診：車CT 検診開始 （ヘリカルCT 撮影装置1台、喀痰細 胞診検査）
5月	肺がん検診：施設での一次検診開始 （胸部X線撮影装置「FCR 対応」1台、 喀痰細胞診検査）	平成18年4月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（2台）、検診開始 乳がん車検診：デジタルマンモグラ フィ検診車検診開始（1台）
6月	肺がん検診：施設での精密検査開始 （断層X線撮影装置「FCR 対応」1台、 喀痰細胞診検査）	6月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（1台）、検診開始
7月	乳がん検診：車検診開始（超音波診 断装置1台）	平成19年3月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（1台）、検診開始
9月	がん危険度セルフチェックキャン ペーン、街頭・店頭キャンペーン、 世界のがん予防ポスター展	平成20年3月	施設検診システム稼働 胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（1台）、検診開始
平成元年3月	昭和63年度大阪がん予防対策基金事 業研究助成決定（10件）	平成22年3月	肺がん車検診：デジタル化に変換 検診開始
		4月	財大阪府保健医療財団と法人統合
		9月	乳がん車検診：乳がん検診強化の為 デジタルマンモグラフィ検診車購入 （1台）
		平成24年4月	大阪がん予防検診センターと大阪 府立健康科学センターとの事業統合 大阪がん予防検診センターから大阪 がん循環器病予防センターに名称 変更
		平成25年3月	公益財団法人への移行認定
		4月	公益財団法人への移行登記
		平成29年2月	日本人間ドック学会の定める人間ド ック健診施設機能評価に認定
		令和2年10月	デジタルマンモグラフィ検診車更新 （1台）

### 3 循環器病予防部門(旧健康科学センター)のあゆみ

#### (1) 設立趣旨

大阪府では、従来から他府県に比較して平均寿命が短く、中高年の死亡率が高いこと、特に循環器病やがんによる死亡率が高いことが行政課題となっています。これらの課題の解決のために、府民の健康度の変化を早期に把握し、生活習慣を改善するとともに環境の改善や必要な医療へ繋げていくことが必要となっています。そのためには、科学的根拠に基づく効果的な健康づくり技法の開発、健康情報の普及啓発、指導者育成、実践活動を行う拠点施設が必要であることが強く認識され、健康科学センターの設置へと繋がりました。

#### (2) 沿革

昭和34年に、脳卒中、心疾患、がん等の成人病の研究および対策を確立するため、大阪府では全国に先駆けて、大阪府立成人病センターをオープンし、死因の第一位で国民病と言われた脳卒中の予防を図るため、調査部集検一科を設置しました。当時、脳卒中の原因はおろか死亡や発生の実態すら十分に把握されていない状況でしたが、旧健康科学センター顧問の小町喜男氏が先駆的に循環器病の予防のための疫学研究と実践活動を開始され、さらに集団検診第一部へと発展した組織で活動を展開され、日本の循環器病予防の疫学研究と対策の進展に先導的な役割を果たされてきました。

平成4年には、「大阪府衛生対策審議会」が成人病予防から治療に至る一貫した体制を整備するため、生活習慣に関する専門施設(大阪府立成人病センター、大阪がん予防検診センター、大阪府立公衆衛生研究所)が集中する森ノ宮地区に府民の健康づくりの拠点施設を整備し、これまで以上に積極的な健康づくり施策を推進していくとした「森ノ宮健康ゾーン構想」を打ち出しました。

平成7年には「大阪府森ノ宮健康ゾーン推進計画書」が自治省「リーディングプロジェクト」先導的な地域づくり対策に対する支援、地域総合整備事業債の適用を受けることとなり、健康づくりの拠点施設の設置の実現性が高まりました。

平成8年には、大阪府が「成人病克服おおさか10か年プラン」を策定し、府民の自主的な健康づくり活動の支援を行うため、その拠点施設として、大阪府立成人病センター集団検診第一部等を基盤に、大阪府立健康科学センターを設置することとしています。

平成13年には、2月議会で設置条例が可決され、3月に本体建物が竣工し、4月には(財)大阪府保健医療財団へ管理運営を委託して、7月に大阪府立健康科学センターとしての事業を開始しました。

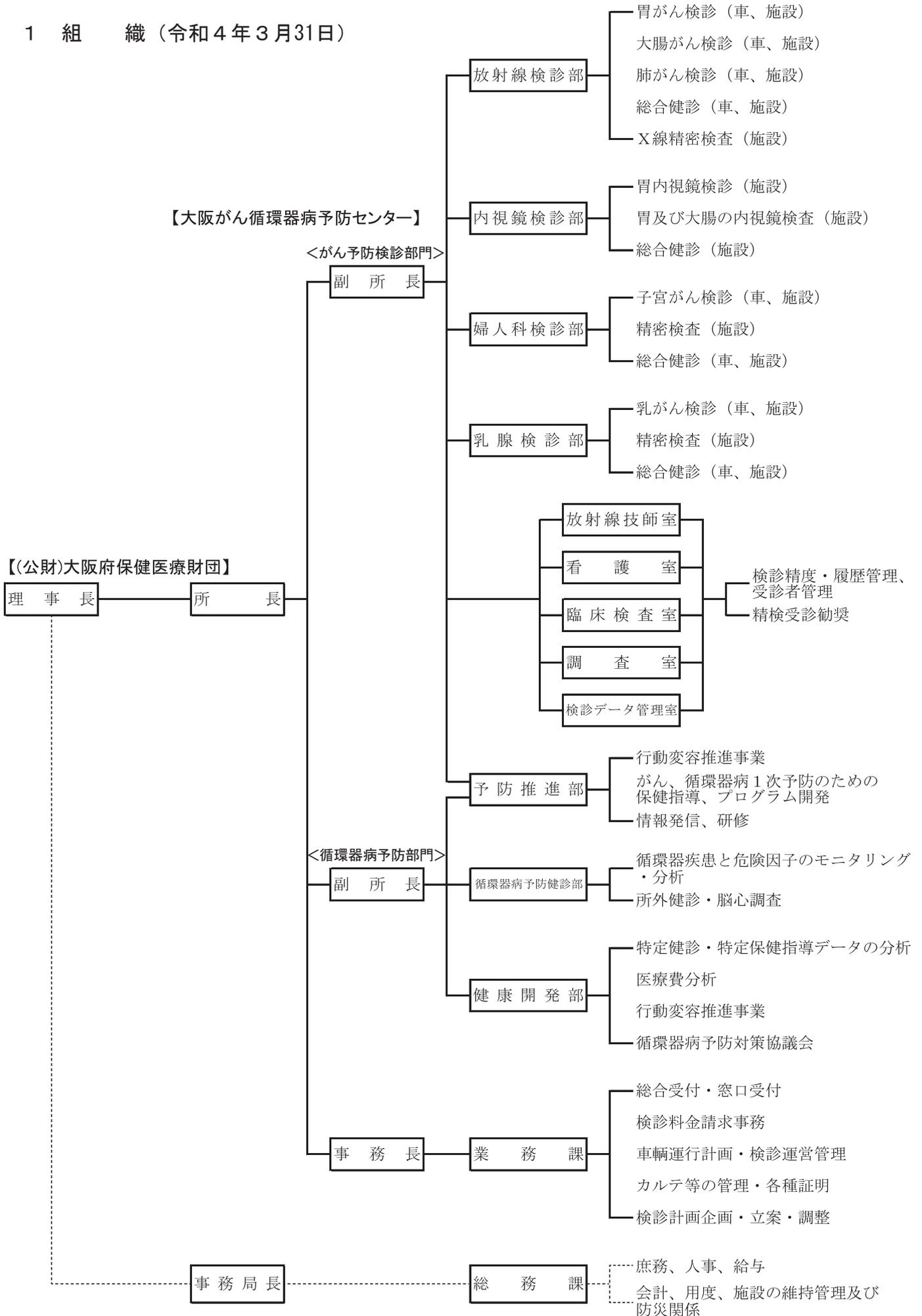
平成20年には、大阪府の財政非常事態宣言で財政再建プログラム素案が出され、大阪府立健康科学センターの廃止が提示されましたが、府民はもとより全国から存続嘆願の署名22,320人が集まり、知事に提出され、廃止案は後退しました。しかし、同プログラム案で、運動フロアでのフィットネス、展示施設の廃止、健診事業の内容精査、(財)大阪がん予防検診センターと統合の方針が出され、さらに府派遣職員の全員引揚げ方針が出された結果、組織・財源の大幅な見直しが行われました。

平成23年9月議会で、平成23年度末で大阪府立健康科学センターの公の施設としては廃止する条例が可決され、平成24年度から、大阪府立健康科学センターと大阪がん予防検診センターの統合による新センターが設置されることとなりました。

# II 管 理



1 組 織 (令和4年3月31日)



## 2 理事会・評議員会等の開催状況

【第306回理事会】 令和3年6月9日

- ・議案
  - 第1号議案 令和2年度事業報告及び収支決算の件
  - 第2号議案 評議委員選定委員会外部委員の選任の件
  - 第3号議案 定時評議員会の開催の件
- ・報告事項 令和2年度における職務執行状況について

【第307回理事会】 令和3年7月6日

- ・議案
  - 第1号議案 理事長選定の件

【第308回理事会】 令和4年3月14日

- ・議案
  - 第1号議案 令和3年度収支予算補正の件
  - 第2号議案 令和4年度事業計画の件
  - 第3号議案 令和4年度収支予算の件
  - 第4号議案 第3期中期経営計画の策定の件
  - 第5号議案 臨時評議員会の招集の件
- ・報告事項 令和3年度における職務執行状況について

【令和3年度定時評議員会】 令和3年6月30日

- ・議案
  - 第1号議案 令和2年度事業報告及び収支決算の件
  - 第2号議案 任期満了に伴う理事の選任の件
  - 第3号議案 任期満了に伴う監事の選任の件
  - 第4号議案 任期満了に伴う評議員候補者の推薦の件
- ・報告事項 第306回理事会の概要について

【令和3年度第1回臨時評議員会】令和3年7月27日

- ・議案
  - 第1号議案 理事の辞任に伴う補欠の理事の選任の件

【令和3年度第2回臨時評議員会】令和4年3月30日

- ・議案
  - 第1号議案 令和3年度収支予算補正の件
  - 第2号議案 令和4年度事業計画の件
  - 第3号議案 令和4年度収支予算の件
  - 第4号議案 第3期中期経営計画の策定の件
- ・報告事項 (1)第308回理事会の概要について  
(2)令和3年度の経営目標達成状況等について

### 3 評議員・役員名簿

[評議員名簿]

(令和4年3月31日現在)

名 称	氏 名	摘 要
評 議 員	磯 博 康	大阪大学大学院医学系研究科教授
評 議 員	深 田 拓 司	一般社団法人 大阪府歯科医師会 会長
評 議 員	佐々木 洋	一般社団法人 大阪府病院協会 会長
評 議 員	祖父江 友 孝	大阪大学大学院医学系研究科教授
評 議 員	藤 井 睦 子	大阪府健康医療部長
評 議 員	茂 松 茂 人	一般社団法人 大阪府医師会 会長
評 議 員	新 谷 憲 一	大阪市健康局長
評 議 員	乾 英 夫	一般社団法人 大阪府薬剤師会 会長
評 議 員	松 浦 成 昭	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 総長

[役員名簿]

(令和4年3月31日現在)

名 称	氏 名	所 属
理 事 長	高 杉 豊	公益財団法人 大阪府保健医療財団
理 事	伊 藤 壽 記	大阪がん循環器病予防センター 所長
理 事	森 脇 俊	大阪府医療監
理 事	川 勝 洋 一	大阪市健康局健康推進部長
理 事	長 井 詳 昭	公益財団法人 大阪対がん協会 専務理事
理 事	北 村 良 夫	一般社団法人 大阪府医師会 理事
理 事	高 田 俊 明	一般社団法人 大阪府病院協会 常任理事
理 事	伊 藤 憲一郎	一般社団法人 大阪府薬剤師会 副会長
理 事	津 田 高 司	一般社団法人 大阪府歯科医師会 副会長
監 事	蒲 生 武 志	公認会計士
監 事	南 部 英 幸	元大阪府会計管理者

#### 4 幹部職員・職員数

[幹部職員]

(令和4年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
所 長	伊 藤 壽 記
副所長兼放射線検診部長 兼総合健診部長	今 村 文 生
副所長兼循環器病予防健診部長	木 山 昌 彦
乳線検診部長 兼検診データ管理室長	和 田 公 子
婦人科検診部長	杉 田 道 夫
内視鏡検診部長	林 暢 彦
予 防 推 進 部 長	岡 田 武 夫
健 康 開 発 部 長	清 水 悠 路
放 射 線 技 師 室 長	三 浦 一 利
看 護 長	岡 由 紀 子
臨 床 検 査 室 長	西 山 ひ ろ み
調 査 室 長	池 宮 城 賀 恵 子
事 務 長	山 添 千 登 勢

[常勤職員数(現員)]

(令和4年3月31日現在)

職 種	職 員 数
医 師	6
診 療 放 射 線 技 師	11
臨 床 検 査 技 師	5
看 護 師	14
保 健 師	4
シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア	1
事 務	9
運 転 手	2
合 計	52

## 5 主要事業開始日

事業区分		開始日	
胃がん検診	車検診	昭和62年 4月 1日	
	施設検診	一次検診	昭和62年 5月19日
		精密検査	昭和62年10月 5日
子宮がん検診	車検診	昭和62年 5月12日	
	施設検診	一次検診	昭和62年 6月 2日
		精密検診	昭和62年 6月 2日
乳がん検診	車検診	昭和63年 7月 4日	
	施設検診	一次検診	昭和62年10月 8日
		精密検診	昭和62年10月 8日
肺がん検診	車検診(胸部X線車)		平成11年 4月16日
	車検診(ヘリカルCT車)		自 平成17年 4月11日 至 平成31年 3月31日
	施設検診	一次検診	昭和63年 5月11日
		精密検査	昭和63年 6月14日
大腸がん検診	一次検診(郵送方式)		自 昭和63年 4月 1日 至 平成 4年 3月31日
	車検診(胃と同時検診)		平成 4年 6月10日
	施設検診	一次検診	平成 4年 4月 1日
		精密検査	平成 4年 7月13日
総合健診	車検診	平成10年 6月 4日	
	施設検診	一次検診	平成 9年 4月 1日
		精密検査	平成10年 6月25日
特定保健指導		平成21年 4月 1日	
細胞診・組織診検査		昭和62年 5月 6日	

## 6 施設認定および職員の認定資格

### (1) 施設認定

- ・日本臨床細胞学会 細胞診認定施設
- ・日本臨床細胞学会 教育研修認定施設
- ・日本消化器がん検診学会 認定指導施設
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構  
マンモグラフィ検診施設画像認定
- ・日本医師会臨床検査精度管理調査
- ・日本臨床細胞学会コントロールサーベイ
- ・全国労働衛生団体連合会  
腹部超音波検査精度管理調査優評価  
胃X線検査精度管理調査優評価
- ・CDC/CRMLNによる総コレステロール等の  
国際標準化プログラム合格機関
- ・日本人間ドック学会 機能評価認定施設

### (2) 職員の保有する認定資格

#### 【医師】

##### (医療法に基づく広告可能な専門医資格)

- ・日本内科学会 総合内科専門医
- ・日本外科学会 外科専門医
- ・日本消化器病学会 消化器病専門医
- ・日本超音波医学会 超音波専門医
- ・日本臨床細胞学会 細胞診専門医
- ・日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
- ・日本産科婦人科学会 産婦人科専門医

##### (その他の専門資格)

- ・日本外科学会 外科指導医
- ・日本消化器外科学会 消化器外科指導医
- ・日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
- ・日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医
- ・日本移植学会 認定医
- ・日本統合医療学会 統合医療指導医
- ・日本補完代替医療学会 補完代替医療学識医
- ・日本消化器内視鏡学会 指導医
- ・日本内科学会 認定内科医
- ・日本超音波医学会 超音波指導医
- ・日本消化器がん検診学会 認定医・指導医
- ・日本がん検診診断学会 認定医
- ・日本人間ドック学会  
人間ドック健診認定医  
人間ドック健診専門医  
人間ドック健診指導医
- ・日本乳癌学会 認定医
- ・社会医学系専門医協会 社会医学系指導医・専門医
- ・日本公衆衛生学会 認定専門家
- ・日本医療情報学会医療情報技師育成部会認定  
上級医療情報技師育成指導者  
医療情報技師育成指導者
- ・日本医師会 認定産業医
- ・日本医師会 認定健康スポーツ医

- ・日本乳がん検診精度管理中央機構  
検診マンモグラフィ読影認定医  
乳がん検診超音波検査実施・判定医
- ・J A B T S (乳房超音波認定)
- ・International Academy of Cytology Fellow (FIAC)
- ・日本呼吸器学会指導医
- ・気管支鏡指導医
- ・衛生学エキスパート

#### 【診療放射線技師】

- ・日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構  
検診マンモグラフィ撮影技術認定
- ・日本診療放射線技師会  
ADVANCED R. T. (アドバンスド診療放射線技師)  
業務拡大に伴う統一講習会認定
- ・肺がんCT検診認定機構  
肺がんCT検診認定技師
- ・日本消化器がん検診精度管理評価機構  
胃がんX線検診読影部門B資格検定
- ・日本消化器がん検診学会 大腸CT検査技師認定

#### 【臨床検査技師】

- ・日本臨床細胞学会 国際細胞検査士
- ・日本臨床細胞学会 細胞検査士
- ・日本超音波医学会 超音波検査士  
(健診・循環器・体表臓器・消化器)
- ・日本臨床検査同学院 二級臨床検査士 (病理)
- ・J A B T S (乳房超音波認定)

#### 【看護師】

- ・日本消化器内視鏡学会 認定消化器内視鏡技師
- ・第一種 衛生管理者
- ・介護支援専門員
- ・3学会合同呼吸療法認定士

(令和4年3月 現在)

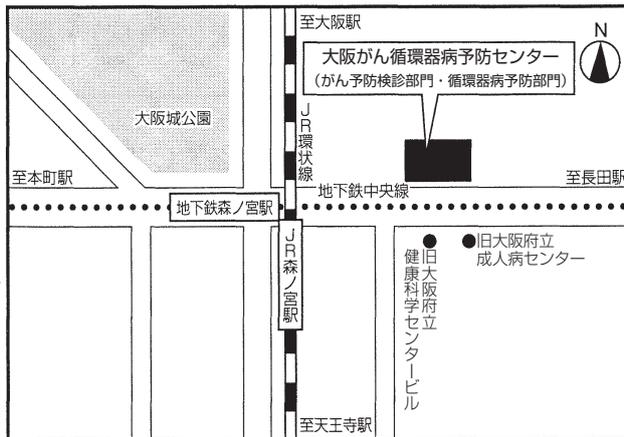
## 7 施設概要

### ○ がん予防検診部門・循環器病予防部門

- 所在地 大阪市城東区森之宮1丁目6番107号
- 設立 昭和61年10月
- 階数 地下1階 地上6階—一部7階
- 面積 2,178.51㎡
- 延床面積 5,208.57㎡（車庫棟含む）

施設配置図

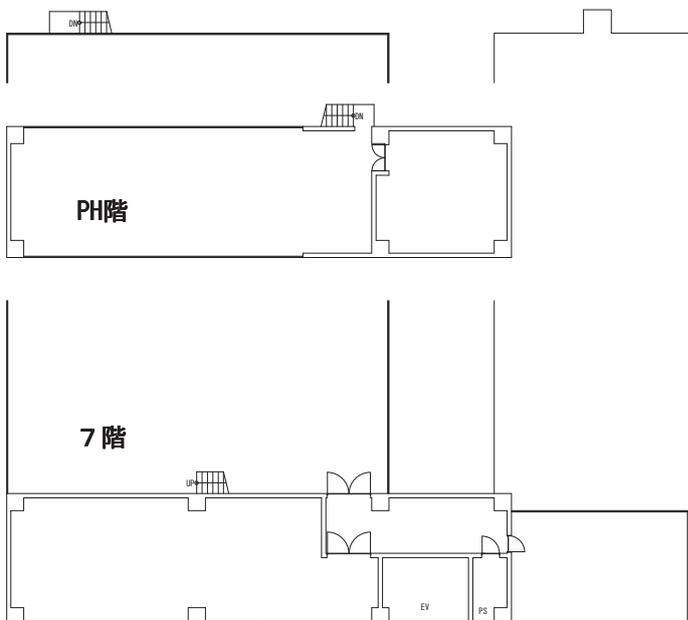
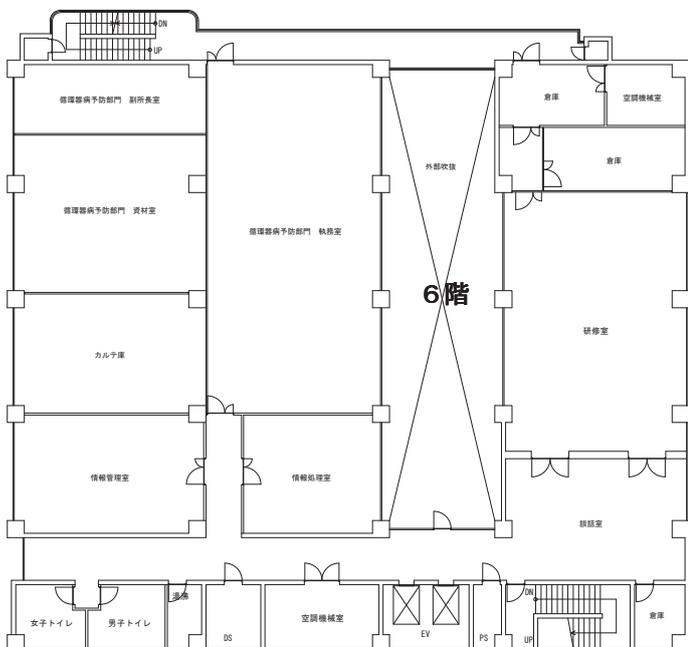
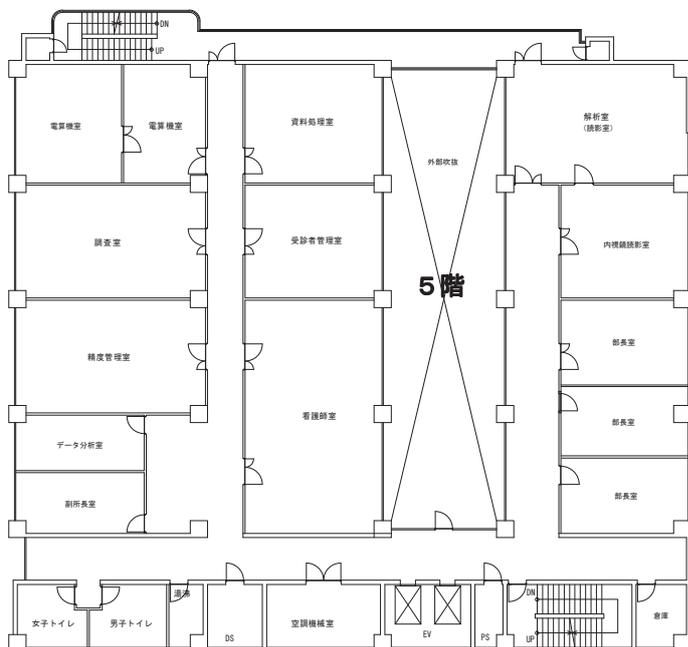
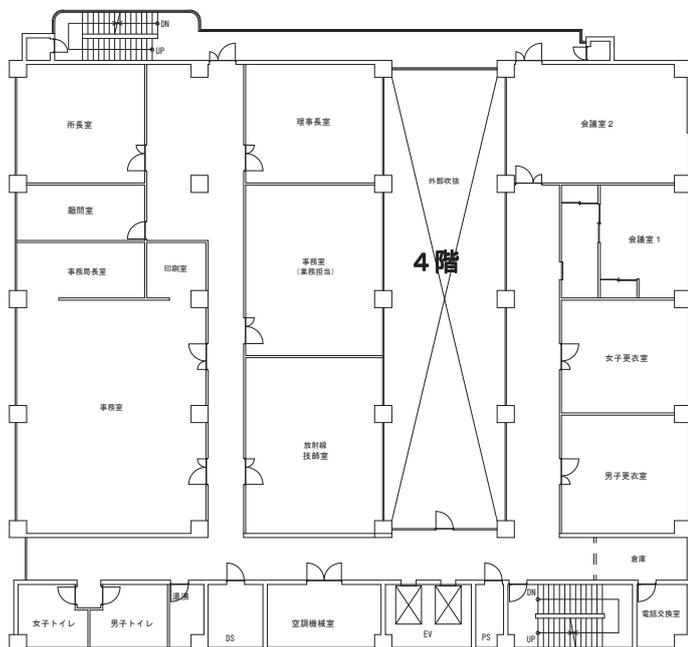
7階	機械室
6階	循環器病予防部門（副所長室・資材室・執務室）・情報管理室・情報処理室・カルテ室・研修室
5階	副所長室・部長室・看護室・読影室 電算機室・調査室・検診データ管理室
4階	事務室・理事長室・所長室・技師室 会議室
3階	総合健診室・標本作製室・部長室
2階	X線撮影室・内視鏡室・診察室
1階	ロビー・待合室・受付・診察室・問診室
B1階	機械室



※ JR環状線「森ノ宮」下車

※ 地下鉄 中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車④号出口東へ徒歩2分





## 8 主要備品一覧表

### 主要備品

〔1 F 婦人科及び診察室関連〕

(令和4年3月31日現在)

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
心電計	1	フクダエム・イー 503FB	S62年5月
ヒステロスコープ	一式	トーイツ HS-401	〃
ヒステロファイバースコープ (専用カメラ付、専用光源付)	1	富士写真 HYS-F FG-110H FIL-FS	〃
ワイサップコアグレーター	一式	ワイサップ社	S62年6月
吊下式アーム型ステレオコルポスコープ・側視鏡	1	トーイツ CP-600	H8年2月
医事会計システム	1	富士通ビジネスシステム HOPE/ST-3230	H8年9月
全自動身長体重計	1	ウエダ製作所 ユーウェル2	H10年3月
吊下式アーム型ステレオコルポスコープ・側視鏡	1	トーイツ CP-600	H11年12月
超音波診断装置	1	東芝 ECCOCEE SSA-340白黒	H12年3月
超音波診断装置 (車搭載用)	1	東芝 DYRO-US	H13年3月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 SPA-750型	H17年3月
電動検診台	1	トーイツ セリーナ800R	〃
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 FI-371E	H18年3月
電動検診台	1	タカラベルモント DG-7000E	〃
超音波診断装置	1	持田シーメンス C-3000	H19年1月
全自動血圧計	2	エルクエスト UDEX-Twin タイプII	H20年1月
磁気カードリーダー	1	富士通 3150R-USB	H22年7月
診療ユニット	1	タカラベルモント DG-100N	H23年4月
AED装置	1	ハートスター FR2	H25年2月
診療ユニット	1	タカラベルモント DG-WS110	H27年1月
コルポスコープ	1	オリンパス コルポスコープ OCS-500	H27年12月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 FI-271E	H28年2月
婦人科半導体レーザー	1	飛鳥メディカル社製 ADL-20	H28年3月
超音波診断装置	一式	シーメンス社製 SONOVISTA FXRE	H30年3月
OCRスキャナー	1	富士通(株) fi-7480	R1年9月
肺精検用モニター	一式	富士フイルム社製 3M2面参照用ビューワ等	R1年12月
小型採血管準備装置	1	テクノメディカ BC-ROB007	R2年3月

## 〔2Fレントゲン室関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
胸部ファントム	1	アルダーソン社 XA-209型	S62年5月
ファントム(胃)	1	BMU-1型	〃
胸部X線撮影装置	1	東芝メディカル KX0-50F	S63年4月
自動現像機	1	富士フィルムメディカル CEPROS-M2	H11年4月
X線出力アナライザー	1	ビクトリン社 6000B型 NERO	H15年4月
線量計(500型プローブ3本)	1	ビクトリン社 ラドコン線量計	〃
内臓脂肪CTソフト	1	東芝メディカル Fat Scan	H19年3月
ポータブル濃度計	1	伊原テクニク TM-S	H19年6月
骨密度連携システム	1	富士通	H22年3月
乳房X線撮影装置	一式	富士メディカルシステム アミュレット	H22年3月
富士医用画像情報システム	1	富士フィルムメディカル SYNAPSE STD 一式	H24年3月
放射線管理システム	一式	DELL	〃
胃X線TVデジタル透視撮影装置(6TV)	1	東芝メディカルX線システム SREX-D32C形	H25年3月
線量計 ACCU-GOLD	1	Radcal 社	〃
線量計(イオンビームチェンバー)	1	Radcal 社 10X6-6型	〃
給茶器	1	東芝製 HTP-360 MIPB-0	H25年7月
胃X線TVデジタル透視撮影装置(5TV)	1	東芝メディカルX線システム SREX-D32C形	H25年9月
全身用X線CT装置	1	シーメンス・ジャパン製 ハイエンド画像診断装置	H26年3月
線量計(CTDI用チェンバー)	1	Radcal 社 10X6-3CT型	〃
線量計(マンモ用チェンバー)	1	Radcal 社 10X6-6M型	H26年12月
医用X線高電圧装置	一式	キヤノン社製 KX0-50SS	H30年3月
超音波骨密度測定装置	2	日立製作所製 AOS-100SA	H30年9月
島津 FPD 搭載アイト方式 X線 TV システム	1	島津製作所製 SONIALVISION	H31年4月
X線天井走行型支持器	一式	キヤノンメディカルシステムズ DST-1000A	R3年4月
胸部X線撮影装置(受光部)	一式	富士フィルムメディカル CALNED Flow C77	R3年5月

## 〔2F内視鏡室関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
内視鏡検診台	4	タカラベルモント TR-83	S62年9月
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XP260	H15年4月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	H15年4月
カラービデオプリンター	1	オリンパス OEP-3	H16年4月

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	〃
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XQ260	〃
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	H16年4月
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260	〃
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	H18年1月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	〃
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260B	〃
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XP260N	H19年3月
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XQ260	〃
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	H19年4月
内視鏡用汎用トロリー	1	オリンパス WM-NP-1	〃
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260B	〃
カラービデオプリンター	1	オリンパス OEP-3	H19年9月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	H20年3月
内視鏡ビデオスコープ	4	オリンパス GIF-P260NS	H22年3月
内視鏡ビデオスコープ	2	オリンパス GIF-PQ260	〃
内視鏡ビデオスコープ	4	オリンパス PCF-Q260AI	〃
医療用画像情報システム(内視鏡)	5	オリンパス IT-1	〃
医療用吸引装置	1	オリンパス KV-5	H24年10月
AED装置	1	ハートスタート FR2	H25年2月
ベッドサイドモニター	1	日本光電 PVN-2701	H28年6月
内視鏡用DICOMコンバータ	4	富士フイルム社製 VT-318D	H30年3月

[3F検査・総合検診室関連]

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
ギムザ染色装置(細)	1	サクラ精機 RSG-50	S62年5月
クリオスタット	1	ライヘルト社 クライオカットE	〃
顕微鏡カラーテレビシステム	一式	ニコン	〃
顕微鏡側光装置	1	ニコン P-1システム	〃
自動現像機	1	甲南電気 オートデベ6型	〃
純水装置	1	オルガノ オスモクリア R0-100	〃
生物顕微鏡	13	ニコン	〃
マルチティーチングマイクロスコープ	2	ニコン XB-MTH-21	〃

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
落射蛍光・位相差顕微鏡	一式	ニコン FX-1	〃
落射蛍光システムパソコン	一式	PC-9801 VX41	S63年3月
ファインビューア	1	富士レビオ 300800	H4年5月
ファステック	1	富士レビオ 104	H6年6月
マイコン心電計	1	フクダ電子 FCP-4720	H10年3月
尿自動分析装置	1	栄研化学 US-2100	H10年5月
デジタルフィルムレコーダ（富士通パソコン付）	1	ラサー グラフィックス LFR Plus	H13年4月
パラフィン包埋ブロック作成装置	1	千代田製作所 ティッシュ・テック TECS	H13年9月
細胞診業務支援システム	1	ニコンインステック	H14年2月
小型高圧蒸気滅菌器	1	サクラ ACV-3023	H15年6月
電子スピロメーター	1	ミナト医科学 システム7	H17年3月
フルオート非接触眼圧計	1	キャノン TX-F	H18年3月
遺伝子増幅装置	1	アプライドバイオシステム Gene Amp PCR System9700	H19年10月
オージオメーター	1	リオン AA-S6	〃
ゲル読影装置	1	アトーププリントグラフ AE-6932CXCXCF-U	〃
デジタル眼底カメラ	1	キャノン CR-1	H20年12月
乳腺超音波装置	1	日立メディコ EUB-7500	H21年3月
乳腺比較読影システム	1	GE 横河メディカル Prefetch	〃
腹部エコー	1	東芝メディカル Nemio XG	H21年5月
医療用画像情報システム（腹部エコー2台）	2	富士フィルムメディカル synapse	H22年3月
デジタルマンモ装置	1	富士フィルムメディカル AMULET	〃
乳腺超音波カードリーダー	1	日立メディコ PDC-816	〃
腹部エコー	2	GEHealthcare LOGIO P5	〃
乳腺超音波診断装置	1	日立メディコ EVB-7500	H22年11月
自動染色封入装置	1	グリーンホスピタルサプライ	H23年3月
バイオメディカルフリーザ	1	エルクコーポレーション MDF-U730M	〃
薬用冷蔵ショーケース	1	サンヨー MDF-U730M	H23年9月
心電図サーバー	1	フクダ電子 EFS-8000	H24年3月
超音波ビペット洗浄機	1	シャープマニュファクチャリング UT-55	〃
臨床化学自動分析装置	1	東芝メディカルシステムズ TBA-2000FR	〃
マンモグラフィ専用パソコン	1	DELL optiplex990 ミニタワー	H25年1月
便潜血測定装置 OC センサー DIANA250	1	栄研化学 OC センサー DIANA250タイプ	H25年3月
AED装置	1	ハートスター FR2	H25年6月

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
汎用超音波診断装置（エコー装置）	一式	GEヘルスケアジャパン L0JIQE9	H25年9月
汎用超音波診断装置（エコー装置）	1	GEヘルスケアジャパン L0JIQe	〃
ニコン顕微鏡	1	ニコン エクリプス Ci-L	H27年1月
椅子型電動診察台	1	タカラベルモント製 イクスフィール	〃
解析付心電計	1	フクダ電子 FCP-8800	H27年3月
密閉式自動固定包埋装置	1	サクラファインテック ETP ティシュー・テック	〃
自動視力計	1	ニデック社製 NV-350-N	H27年6月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 F1-271E	H28年2月
オートスパイロメータシステム	一式	メディセオ S7WNRD	H28年4月
全自動身長体重計	1	エー・アンド・ディ AD-6228A	H29年1月
デジタル無散眼底カメラ	一式	キャノン社製 CR-2 AF	H30年3月
オージオメーター	1	リオン AA-58	H30年3月
超音波診断装置	1	キャノン製 腹部エコー Xario100Platinum	H31年1月
解析付心電計	1	フクダ電子製 FCP-8800	〃
バーダマグナム（自動生検装置）	1	㈱メディコン製 MG1522	R1年5月
解析付心電計	1	フクダ電子製 FCP-8800	R2年3月
ニコン顕微鏡	2	ニコン エクリプス Ci-L	R3年10月
オリンパス顕微鏡	3	オリンパス BX43	R3年10月
フルオート非接触眼圧計	1	キャノン TX-20P	R4年3月

〔4 F 事務局関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
コピー機	1	リコー MP6000RC	H22年3月
PCA 法人給与経理システム	1	NECデスタップ MKL36/B-5	R1年9月
リソグラフ	1	理想科学工業製 オルビス FW2230	H31年4月
封書・ハガキ圧縮機	1	トッパン・フォームズ PRESSLE Core	R3年3月

〔5 F 検診解析及び調査部関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
次期基本システム（基本設計）	一式	富士通	H20年3月
総合検診システム	一式	富士通	H24年3月
検診システム（追加分）	一式	富士通	H25年3月
健診システム（健太くん）	一式	ミエデン Win10移行作業	R2年3月

[検診車]

検診車名	メーカー・型式	取得年月日
デジタル胸部X線検診車(すこやか1号) (大阪府から無償貸与)	日野・KC-RR1JJAA	H11年3月24日
デジタル胃X線検診車(1号車)	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年3月24日
デジタル胃X線検診車(2号車)	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年3月29日
デジタル胃X線検診車(12号車): 岸和田 HC	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年6月7日
デジタル胃X線検診車(8号車): 八尾 HC	日野・PB-RR7JJAA	H19年3月26日
婦人科検診車	日野・PB-RR7JJAA	H19年3月26日
デジタルマンモグラフィ検診車(2号車)	日野・BDG-FE8JPWG 装置載せ替え	H22年9月30日 R3年1月18日
デジタルマンモグラフィ検診車(1号車)	日野・BDG-FE2AB	R2年10月22日

# 9 会 計

## 貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	がん予防検診事業	循環器病予防事業
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
流動資産合計	182,918,973	33,573,488
2. 固定資産		
(1)基本財産		
基本財産合計	22,000,000	0
(2)特定資産		
特定資産合計	494,679,763	0
(3)その他固定資産		
その他固定資産合計	305,246,396	2
固定資産合計	821,926,159	2
資 産 合 計	1,004,845,132	33,573,490
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
流動負債合計	184,314,267	22,949,286
2. 固定負債		
固定負債合計	472,096,912	0
負 債 合 計	656,411,179	22,949,286
<b>III 正味財産の部</b>		
1. 指定正味財産	265,190,941	0
(うち基本財産への充当額)	( 22,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 222,084,590)	( 0)
2. 一般正味財産	83,243,012	10,624,204
(うち特定資産への充当額)	( 69,595,173)	( 0)
正味財産合計	348,433,953	10,624,204
負債及び正味財産合計	1,004,845,132	33,573,490

# 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	がん予防検診事業	循環器病予防事業
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産運用益	38,908	0
特定資産運用益	2,801,838	0
事業収益	776,251,592	24,870,193
受託事業収益	61,085,456	89,060,911
受取補助金	5,250,249	0
雑収益	5,991,163	0
受取寄付金	217,249	0
経常収益計	851,636,206	113,931,104
(2) 経常費用		
事業費	902,688,492	112,484,682
経常費用計	902,688,492	112,484,682
当期経常増減額	△51,052,286	1,446,442
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益計	163,091	0
(2) 経常外費用		
固定資産除却損	4	0
指定正味財産への繰入金	0	0
経常外費用計	4	0
当期経常外増減額	163,087	0
当期一般正味財産増減額	△50,889,199	1,446,422
一般正味財産期首残高	134,132,211	9,177,782
一般正味財産期末残高	83,243,012	10,624,204
II 指定正味財産増減の部		
受取補助金	0	0
受取寄付金	3,965,850	0
一般正味財産への振替額	△5,217,249	0
当期指定正味財産増減額	△1,251,399	0
指定正味財産期首残高	266,442,340	0
指定正味財産期末残高	265,190,941	0
III 正味財産期末残高	348,433,953	10,624,204



### Ⅲ 検診・健診事業

## 1 がん検診事業

当センターで実施している検診には、市町村や企業等からの依頼を受け、検診車を派遣して実施する巡回検診（以下「車検診」という。）と、施設内において行う検診がある。

車検診は、胃がん検診車4台、子宮がん検診車1台、乳がんマンモグラフィ検診車2台、胸部エックス線検診車1台で実施している。

施設検診は、胃がん検診（一次検診、精密検査）、子宮がん検診（一次検診、精密検査）、乳がん検診（一次検診、精密検査）、肺がん検診（一次検診、精密検査）、大腸がん検診（一次検診、精密検査）を実施している。

表1に検診項目別の検査件数を示した。一次検診の結果、要精密検査と判定された者については本人の希望に沿い地域の医療機関を紹介し、又は当センターにおいて精密検査を実施している。

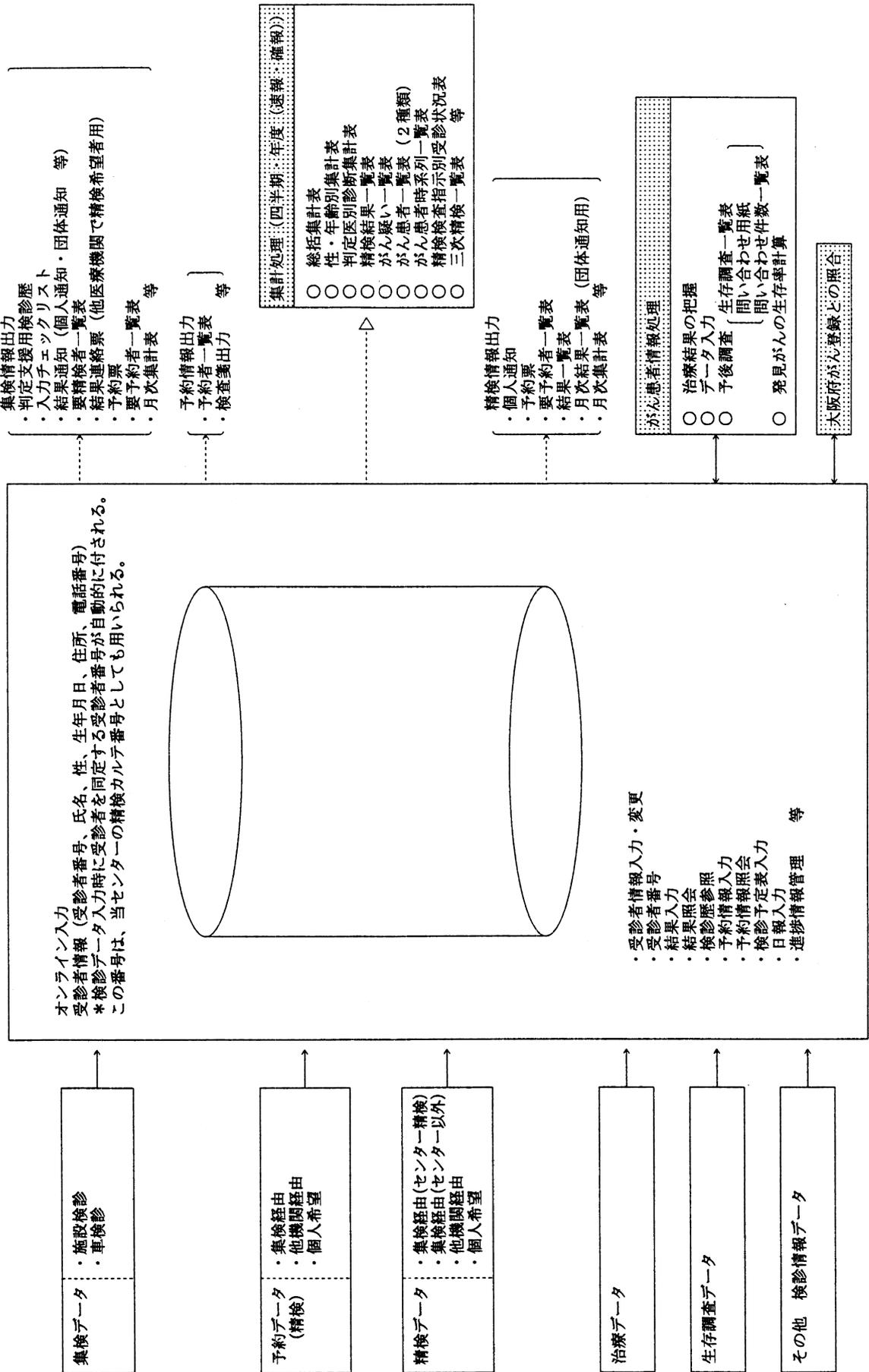
なお、当センターの精密検査において治療が必要と診断された者については、当センターは治療設備をもたない検診専門機関であるため、本人や家族と相談した上で適切な医療機関を紹介している。

受診者のデータの管理や結果通知・集計等の作業、並びに受診団体と協力しての精検未受診者に対する受診勧奨や、がん患者の追跡調査等にはコンピュータを活用している。図1に胃がん検診を例としてコンピュータ処理の概要を示した。

表1 検査件数

検 診 項 目			検 査 件 数 (延べ数)	
			令和3年度	前 年 度
胃がん検診	一 次 検 診	車 検 診	19,806	19,386
		施 設 検 診	9,078	10,567
	精 密 検 査		1,607	1,822
	小 計		30,491	31,775
子宮がん検診	一 次 検 診	車 検 診	9,896	7,998
		施 設 検 診	5,844	6,591
	精 密 検 査		1,270	1,279
	小 計		17,010	15,868
乳がん検診	一 次 検 診	車 検 診	13,070	11,351
		施 設 検 診	6,749	7,435
	精 密 検 査		2,657	2,652
	小 計		22,476	21,438
肺がん検診	一 次 検 診	車 検 診	12,742	11,115
		施 設 検 診	7,230	8,957
	精 密 検 査		1,179	1,425
	小 計		21,151	21,497
大腸がん検診	一 次 検 診	車 検 診	17,892	18,496
		施 設 検 診	11,333	13,126
	精 密 検 査		11	3
	小 計		29,236	31,625
が ん 検 診 合 計			120,364	122,203

図1. 大阪がん循環器病予防センターのがん検診情報処理の概要（胃がん検診を例として）



## (1) 胃がん検診

胃がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診（主としてX線8枚撮影によるスクリーニング）と精密検査（胃X線16枚撮影並びに胃内視鏡検査及び生検）を実施している。

### 〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。

令和3年度の受診者総数は29,003人、車検診受診者数19,806人、施設検診受診者数9,197人であった。

車検診は、胃がん検診車4台を保有し、当センターの敷地内に4台（1, 2, 8, 12号車）を配置して、主に近隣の地域の市町村や職域等の集団検診を実施している。

令和3年度の稼働回数は検診車4台合計で延べ600回であった。

表2に車検診、施設検診別の胃がん検診の成績を示した（月毎の実績は資料1(1)、P80を参照）。

令和3年度受診者29,003人のうち、要精密検査と判定された者は1,656人で、要精検率は5.7%であった。精検受診率は87.2%、発見胃がん患者は25人、うち早期胃がんは20人、発見率は、受診数に対して各々0.09%、0.07%であった。

当センターでは、昭和62年度開設当初より検診の胃X線間接写真の読影・判定に異時ダブルチェックを行ってきた。2度目の読影医師は、1度目の読影医師が「異常なし」と判定したものについてその情報を知った上で読影し「要精検」とするべきものを追加する異時ダブルチェック方式を採用している。

令和3年度胃X線検査での要精検数は1,522人であったが、このうち1,198人が1度目の読影で要精検と判定され、324人が2度目の読影で要精検と判定されたものであった。

検診発見胃がん24人のうち2度目の読影でチェックしたものは2人、このうち早期胃がんは2人であった（資料1(2)の末尾、P81）。

表3には検診対象別の胃がん検診の成績を示した。府内市町村が実施主体となり、地域住民を対象として行った胃がん検診数は27市町村の20,034人であった（資料1(2)、P81）。

これに対し、事業所等職域を対象として行った胃がん検診数は132団体6,410人、大阪対がん協会、検診友の会会員や原爆被爆者を対象に行った胃がん検診数は128人であった（資料1(2)、P81）。

当センターで精検を受診する精検実施割合は地域で12.8%、職域で56.6%、総計では20.4%を占めていた（資料1(7)、(8)、P86、P87）。

表2 胃がん検診成績（車検診・施設検診別）

区分	受診者数	要精検者		精検受診者		胃がん		うち早期がん		
		人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
車 検 診	1号車	5,466	346	6.3	301	87.0	6	0.11	5	0.09
	2号車	4,456	298	6.7	252	84.6	7	0.16	5	0.11
	8号車	4,940	360	7.3	316	87.8	5	0.10	3	0.06
	12号車	4,944	362	7.3	310	85.6	5	0.10	5	0.10
施設検診	9,197	290	3.2	265	91.4	2	0.02	2	0.02	
合計	29,003	1,656	5.7	1,444	87.2	25	0.09	20	0.07	
前年度計	29,953	1,868	6.2	1,637	87.6	30	0.10	26	0.09	

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

3. 施設検診には、内視鏡検診分を含む。

表3 胃がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受 診 者 数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		胃 が ん		う ち 早 期 が ん	
			人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)
地 域	令和3年度	20,034	1,310	6.5	1,138	86.9	22	0.11	18	0.09
	前年度	19,390	1,464	7.6	1,294	88.4	27	0.14	23	0.12
職 域	令和3年度	6,410	209	3.3	172	82.3	2	0.03	1	0.02
	前年度	8,097	341	4.2	286	83.9	1	0.01	1	0.01
検 診 友の会等	令和3年度	128	3	2.3	2	66.7	0	0	0	0
	前年度	117	9	7.7	9	100.0	0	0	0	0

注) 表2に同じ。大阪市個別検診及び総合健診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、当センター実施の集団検診の要精検者、並びに他の集検機関及び医療機関からの紹介者を対象に実施している。

表4に胃がん検診の精密検査件数を示した。X線直接撮影による検査は1件、内視鏡による検査

は1,606件、この内生検による病理組織診検査は219件であった。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの紹介者は110人であった(表5)。

表4 胃がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和3年度	前 年 度
X 線 直 接 撮 影	1	7
内 視 鏡 (うち、生検実施)	1,606 (219)	1,815 (266)
合 計 (うち、生検実施)	1,607 (219)	1,822 (266)

表5 胃がん 精検依頼分の成績

依 頼 元	件 数	胃 が ん (うち早期がん)	胃 腺 腫 胃ポリープ	胃 潰 瘍	そ の 他	異 常 な し
集検機関	46	0(0)	7	0	36	3
医師紹介	3	0(0)	0	0	3	0
個 人	61	0(0)	8	0	52	1
合 計	110	0(0)	15	0	91	4

## (2) 子宮がん検診

子宮がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診（細胞診によるスクリーニング等）と精密検査（細胞診、組織診、コルポスコピー等）を実施している。

### 〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。

車検診は、子宮がん検診車1台を保有し、大阪府内全域の市町村や職域等の検診を実施している。令和3年度の稼働回数は延べ174回であった。

表6に車検診、施設検診別の子宮がん検診の成績を示した。令和3年度の受診者数は車検診の頸部がん検診が9,896人、施設における頸部がん検診受診者が5,837人（うち180人が体がん検診も受診）であった。

当センターで実施した一次検診受診者総数は頸部がん検診15,733人、体部がん検診180人で、この内要精密検査（二次検診）となった者は頸部がん検診が269人、要精検率は1.7%、体部がん検診が8人、要精検率は4.4%であった。

頸部がん検診の精密検査受診者は253人で、受診率は94.1%、体部がん検診の精密検査受診者は8人で受診率は100%であった。発見した頸部がん患者は2人、体部がん患者は0人、がん発見率は一次検診受診者数に対し各々0.01%、0%であった。

なお、頸部がん患者2人のうち微小浸潤がん患者は0人であった。

表7には検診対象別の子宮がん検診成績を示した。府内市町村が実施主体となり地域住民を対象として行った子宮がん頸部検診数は26市町村の10,707人であった。

これに対して、職域を対象として行った子宮がん頸部検診数は114団体4,437人で、大阪対がん協会、検診友の会会員や原爆被爆者を対象に行った子宮がん頸部検診数は589人であった（資料2(1)、P88）。

当センターの行う子宮がん検診で要精検になった者のうち、当センターで精検を実施したものの割合は地域が47.3%、職域で75.0%、総計では59.2%を占めていた（資料2(3)、(4)、P90、P91）。

表6 子宮がん検診成績（車検診・施設検診別）

区分	部位	受診者数	要精検者		精検受診者		子宮頸がん 子宮体がん		うち微小 浸潤がん
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
車検診	頸部	9,896	153	1.5	142	92.8	2	0.02	0
	(体部)	0	0	0	0	0	0	0	0
施設検診	頸部	5,837	116	2.0	111	95.7	0	0	0
	(体部)	180	8	4.4	8	100.0	0	0	0
合計	頸部	15,733	269	1.7	253	94.1	2	0.01	0
	(体部)	180	8	4.4	8	100.0	0	0	0
前年度計	頸部	14,572	280	1.9	255	91.1	5	0.03	4
	(体部)	174	2	1.1	2	100.0	0	0	0

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

表7 子宮（頸部）がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		子 宮 頸 がん		う ち 微 小 浸 潤 がん
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
地 域	令和3年度	10,707	164	1.5	152	92.7	2	0.02	0
	前年度	8,607	142	1.6	126	88.7	4	0.05	3
職 域	令和3年度	4,437	93	2.1	89	95.7	0	0	0
	前年度	5,397	130	2.4	122	93.8	1	0.02	1
検 診 友の会等	令和3年度	589	12	2.0	12	100.0	0	0	0
	前年度	568	8	1.4	7	87.5	0	0	0

注) 表6に同じ。なお、大阪市個別検診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、一次検診の要精検者及び他の集検機関や一般医療機関からの紹介者を対象に頸部及び体部の細胞診検査を1,448件、組織診検査を294件、コルポスコピー1,082件、下腹部エコー264件、合計3,088件実施した（表8）。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの精密検査の紹介者は頸部受診者が36人、体部受診者が10人であった（表9）。

表8 子宮がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容		検 査 件 数	
		令和3年度	前 年 度
細 胞 診	頸 部	1,312	1,271
	体 部	136	129
	小 計	1,448	1,400
組 織 診		294	258
コ ル ポ ス コ ピ ー		1,082	1,047
下 腹 部 エ コ ー		264	266
合 計		3,088	2,971

表9 子宮がん精検依頼分の成績

依 頼 元		件 数	が ん (うち微小浸潤がん)	CIN3 異 型 増 殖	CIN2 複 雑 型 増 殖	CIN1 単 純 型 増 殖	そ の 他	異 常 な し
集 検 機 関	頸 部	6	1 (1)	0	1	0	2	2
	体 部	2	0	0	0	0	1	0
医 師 紹 介	頸 部	19	0 (0)	0	3	0	16	0
	体 部	2	0	0	0	0	0	0
個 人	頸 部	11	0 (0)	0	0	0	11	0
	体 部	6	0	0	0	0	0	0
合 計	頸 部	36	1 (1)	0	4	0	29	2
	体 部	10	0	0	0	0	1	0

### (3) 乳がん検診

乳がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診として視触診及び乳房撮影（マンモグラフィ）と精密検査としてX線撮影及び超音波検査、乳頭分泌物検査あるいは腫瘍穿刺検査による細胞診等を実施している。

#### 〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。車検診は、デジタルマンモグラフィ検診車2台を保有し、大阪府内市町村や職域等の検診を実施している。

市町村が実施主体となり実施する地域検診は、原則、視触診とマンモグラフィのセット検診を行っており、職域等はマンモグラフィのみの検診を実施している。

なお、令和3年度の稼働回数は2台で268回であった。

表10に令和3年度の車検診、施設検診別の乳がん検診の成績を示した。一次検診受診者総数は19,819

人で、車検診受診者は13,070人、施設検診受診者は6,749人であった。

一次検診の結果、要精密検査となった者は967人で要精検率は4.9%であった。精密検査受診者数は895人、精検受診率は92.6%、発見した乳がん患者は79人、うち早期乳がん患者51人、発見率は一次検診受診者に対し各々0.40%、0.26%であった。

表11には検診対象別の乳がん検診成績を示した。府内市町村が実施主体となり地域住民を対象に行った乳がん検診数は28市町村14,963人であった。

これに対して職域を対象に行った乳がん検診数は116団体3,821人、大阪対がん協会や検診友の会会員、原爆被爆者等を対象に行った乳がん検診数は1,035人であった（資料3(1)、P92）。

当センターの乳がん検診で要精密検査となった者のうち当センターで精検を実施した者の割合は地域で45.4%、職域68.6%、総計では51.2%を占めていた（資料3(3)、(4)、P94、P95）。

表10 乳がん検診成績（車検診・施設検診別）

区分	年度	受診者数	要精検者		精検受診者		乳がん		うち早期がん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
車検診	令和3年度	13,070	680	5.2	616	90.6	49	0.37	33	0.25
	前年度	11,351	508	4.5	471	92.7	66	0.58	42	0.37
施設検診	令和3年度	6,749	287	4.3	279	97.2	30	0.44	18	0.27
	前年度	7,435	307	4.1	302	98.4	43	0.58	27	0.36
合計	令和3年度	19,819	967	4.9	895	92.6	79	0.40	51	0.26
	前年度	18,786	815	4.3	773	94.8	109	0.58	69	0.37

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計した。

表 11 乳がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		乳 が ん		う ち 早 期 が ん	
			人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)
地 域	令和 3 年度	14,963	774	5.2	708	91.5	66	0.44	42	0.28
	前年度	12,926	569	4.4	534	93.8	83	0.64	51	0.39
職 域	令和 3 年度	3,821	164	4.3	159	97.0	10	0.26	6	0.16
	前年度	4,934	214	4.3	207	96.7	19	0.39	14	0.28
検 診 友の会等	令和 3 年度	1,035	29	2.8	28	96.6	3	0.29	3	0.29
	前年度	926	32	3.5	32	100.0	7	0.76	4	0.43

注) 表 10 に同じ。なお、大阪市個別検診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、一次検診からの要精検者及び他の集検機関、一般医療機関等からの紹介者を対象に、超音波検査を2,655件、X線撮影を2,313件、乳頭分泌を3件、合計5,128件実施した（表12）。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの精密検査の紹介者は125人であった（表13）。

表 12 乳がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和 3 年度	前 年 度
超 音 波	2, 6 5 5	2, 6 4 9
X 線 撮 影	2, 3 1 3	2, 3 8 7
細 胞 診	1 5 7	1 6 8
分 泌 C E A	3	2
合 計	5, 1 2 8	5, 2 0 6

表 13 乳がん精検依頼分の成績

依 頼 元	件 数	乳 が ん (うち早期がん)	線維腺腫	乳 腺 症	そ の 他	異 常 な し
集 検 機 関	31	0(0)	1	2	20	8
医 師 紹 介	24	2(1)	3	1	13	5
個 人	70	4(0)	7	5	40	14
合 計	125	6(1)	11	8	73	27

#### (4) 肺がん検診

肺がんの早期発見を主目的として、市町村及び企業などを対象に一次検診（胸部直接X線検査、喀痰細胞診によるスクリーニング）と精密検査（胸部CT検査、喀痰細胞診）を実施している。

##### 〈一次検診〉

一次検診は、施設において胸部直接X線検査、胸部低線量CT検査及び喀痰細胞診（三日蓄痰粘液融解法）による検診を実施するほか、車集検として、総合健診車での胸部直接X線検査及び喀痰細胞診による検診を実施している。

表14に施設（車）検診の成績を示した。

令和3年度の成績は、施設検診及び車検診で15,171人が受診し、要精密検査となった者426人、要精検率は2.8%、精検受診率は92.5%、結果、肺がんと診断された者は9人、がん発見率は、集検受診者に対して0.06%であった（資料4(1)、P96）。

なお、表15に検査内容別の検診成績を示した。

##### 〈精密検査〉

精密検査は、施設における一次検診の要精検者などを対象に、胸部直接X線検査、CT検査、喀痰細胞診（三回法）を行っている。

令和3年度は胸部直接X線検査7件、CT検査1,179件、喀痰細胞診0件を実施した（表16）。

表14 肺がん検診成績（施設（車）検診別）

区 分	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		が ん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	(%)
施設（車）検診	令和3年度	15,171	426	2.8	394	92.5	9	0.06
	前年度	16,370	546	3.3	504	92.3	16	0.10

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の成績である。なお、大阪市個別検診は施設検診に含まれている。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

表15 肺がん検診成績（検査内容別：延べ数）

検査内容	区 分	年 度	検査件数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		が ん	
				人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
X 線 直 接	施設(車)検診	令和3年度	15,171	426	2.8	394	92.5	9	0.06
		前年度	16,370	546	3.3	504	92.3	16	0.10
喀痰細胞診	施設(車)検診	令和3年度	583	0	0	0	0	0	0
		前年度	671	0	0	0	0	0	0
合 計		令和3年度	15,754	426	2.7	394	92.5	9	0.06
		前年度	17,041	546	3.2	504	92.3	16	0.09

注) 表14に同じ。

表16 肺がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和3年度	前 年 度
胸 部 直 接 X 線 検 査	7	0
C T 検 査	1, 179	1, 425
喀 痰 細 胞 診	0	0
合 計	1, 186	1, 425

## (5) 大腸がん検診

大腸がんの発見を目的として、市町村、職域、検診友の会会員等を対象に一次検診（免疫学的便潜血検査：2日法）を実施している。

### 〈一次検診〉

一次検診は、胃集団検診とセットで胃・大腸集団検診として地域住民を主に、職域、検診友の会会員等を対象に実施した。

表 17 に検診対象別の大腸がん検診の成績を示した。

市町村が実施主体となり行った大腸がん検診は

24 市町村 21,252 人、職域 88 団体 7,665 人、検診友の会会員等 303 人であった（資料 5(1)、P99）。

大腸がん検診受診者総数 29,220 人のうち、便潜血検査の結果、陽性で要精密検査と判定された者は 1,248 人、要精検率 4.3%、精検受診者は 997 人、精検受診率 79.9% で、発見した大腸がん患者 68 人、うち早期大腸がん 57 人、発見率は集検受診者に対して各々 0.23%、0.20% であった。

大腸がん検診の精密検査は当センターでは実施しなかった。（資料 5(6)、P104）。

表 17 大腸がん検診成績

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		が ん		早 期 が ん	
			人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)
地 域	令和 3 年度	21,252	948	4.5	781	82.4	58	0.27	48	0.23
	前年度	21,621	1,141	5.3	971	85.1	39	0.18	30	0.14
職 域	令和 3 年度	7,665	291	3.8	209	71.8	10	0.13	9	0.12
	前年度	9,674	414	4.3	318	76.8	8	0.08	6	0.06
検 診 友の会等	令和 3 年度	303	9	3.0	7	77.8	0	0	0	0
	前年度	327	16	4.9	14	87.5	0	0	0	0
合 計	令和 3 年度	29,220	1,248	4.3	997	79.9	68	0.23	57	0.20
	前年度	31,622	1,571	5.0	1,303	82.9	47	0.15	36	0.11

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 精密検査の中で精密検査を他機関で受診した者の成績は、当該機関からの報告を得て集計している。

3. 大阪市個別検診は地域に含めた。

### 〈精密検査〉

全大腸内視鏡による精密検査を本年度は実施していない。

## 2 総合健診

施設内においては、協会けんぽが実施する生活習慣病予防健診、定期健康診断、特定健康診査、循環器健診を実施し、これらの健康診査とがん検診を同時に受診することができる態勢をとっている。また、総合的な人間ドック健診も行っている。

協会けんぽの生活習慣病予防健診は3,971人で、前年度より370人増加した。労働安全衛生法に規定する定期健康診断は1,242人で、前年度より20人の減少となった。

特定健康診査は1,465人で、前年度より98人の増加となった。

人間ドックは3,194人で、充実コース人間ドック

151人を含んでおり、前年度より149人の増加となった。

循環器健診は2,996人で、前年度より18人減少した。

その他の健診は0人で、前年度より3,871人の減少となった。

また、平成10年度から実施している検診車を活用した総合的な健康診査は、平成28年度より施設での健診に変更された。

上記の一次健康診査にひき続いて精密検査を実施したのは、がん検診の精密検査を除き849人となり、前年度より67人の増加となった。精密検査の内容は、腹部造影エコーや血液検査、尿検査などである。

表18 総合健診検査人数

(人)

健 診 種 別	令和3年度	前 年 度
生活習慣病予防健診（協会けんぽ）	3,971	3,601
定 期 健 康 診 断	1,242	1,262
特 定 健 康 診 査	1,465	1,367
人 間 ド ッ ク	3,194	3,045
循 環 器 健 診	2,996	3,014
そ の 他 の 健 診	0	3,871
上 記 合 計	12,868	16,160

### <特定健康診査・特定保健指導>

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成20年度からメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査及び特定保健指導が開始され、当センターにおいても平成21年度から実施している。

特定健康診査及び定期健康診断や人間ドックを実施している団体の中で、特定保健指導の実施について依頼のあった団体の受診者のうち、生活習慣の改善が必要とされる対象者に対して特定保健指導を実施した。

11の健康保険組合と特定保健指導実施の契約を締結し、その組合員を対象とした特定保健指導を実施した。

令和3年度実績(次年度以降、初回面接実施者含む)

- ・ 特定健康診査 1,465人
- ・ 特定保健指導 595人
  - うち 動機づけ支援 286人
  - 積極的支援 309人

### <保健指導等>

保健指導の契約がある8団体で循環器健診コースの受診者について、がん予防と循環器病予防の観点から、肥満の有無に関わらず、ハイリスク者に焦点を当てて、当センターの定めた基準に従って医師と保健師・管理栄養士が保健指導を行っている。平成29年度より開始した労災二次健診では、全受診者へ保健指導を実施した。

充実コースの結果説明では、ハイリスク者であるか否かにかかわらず、生活アドバイスとして受診者全員に保健指導を実施している。

令和3年度実績

- ・ 保健指導（労災二次健診受診者含む） 311人
- ・ 生活アドバイス 153人

### 3 所外健診

府民の健康状態や生活習慣の動向、疾病罹患の要因などを明らかにするために、健康科学センターから引き続き、地域住民と職域勤務者に対する「所外健診」を行っている。所外健診を通じ、特定集団の健康状況にかかるデータを長期継続的に追跡・調査し、循環器疾患の発症状況や危険因子のモニタリングを実施している。地域、職域ともに、当センターのスタッフ自らが現場に出向いて健診に従事し、健診方法や結果判定についての精度管理を継続して行うとともに、調査研究や保健指導を行って地域や職域の実情に応じた予防対策の立案に役立てている。

そして、「所外健診」で得られた分析結果や健診・保健指導のノウハウを、将来の循環器疾患の発症確率が計算できる「循環器疾患・発症予測ツール」等保健指導ツールの開発や市町村の予防対策に対するデータ分析や具体的な指導・助言などの支援に活かしている。

#### ○八尾市南高安地区

大阪府立成人病センター集検Ⅰ部が、脳卒中、虚血性心疾患の発生状況及び主要リスクファクターの推移を明らかにするための疫学研究として昭和38年から継続して健診を行ってきた。平成13年、府立健康科学センターの設立に伴い、同センターが研究を引き継ぎ、平成24年4月の同センターと大阪がん予防検診センターとの統合により、大阪がん循環器病予防センターがさらに引き続いて実施している。

本地区の健康づくりは住民主体の活動となっており、その中核として活動している組織が「南高安地区成人病予防会」である。

同会の事業である交流会、総会、骨密度測定検査、健康相談、成人病健診、健診結果説明会、健康増進歩会、会報作成などにも当センターのスタッフが参画している。

また、予防対策事業の評価の一環として、八尾市、八尾市医師会、関係医療機関、大阪府等と協力して、脳卒中、虚血性心疾患発症者調査を実施している。

#### ○秋田県井川町

この地区も前述の八尾市南高安地区と同様に大阪府立成人病センター集検Ⅰ部が研究事業として昭和38年に健診を開始し現在も当センターが引き続いて実施している。

当時、東北地方は脳卒中の死亡率が高い地域であり、特に秋田県は全国一の高死亡率であった。脳卒中予防対策を希望する当時の秋田県衛生科学研究所職員、井川村村長、保健所長らの熱い思いと、大阪府内の地域・職域を中心に循環器健診を実施し着実に実績を上げつつあった成人病センターとの結びつきが脳卒中予防のための健診を共同で実施するきっかけになった。

同町における循環器健診と脳卒中発生状況の調査、食生活の実態調査の結果を大阪の成績と比較することにより、秋田の脳卒中の特徴が次第に浮き彫りになり、その報告をもとに以後の予防対策が推進され、発生率の低下や死亡率の減少など大きな成果を上げるに至った。逆に、両府県におけるデータの比較が大阪の循環器疾患の特徴の解明につながり、大阪での予防対策の発展に大きく寄与することとなっている。

#### ○職域3集団

システム関連会社、市場、医療関係団体という労働環境の異なる3集団に対して、定期健康診断（医療関係団体はドック健診）として健診を実施し、各業態勤労者の循環器疾患の危険因子の特徴や動向を比較検討している。

表19 所外健診検査件数

(件)

健診団体	健診日数	令和3年度	前年度
八尾市南高安地区	8	863 (136)	0 (0)
秋田県井川町	6	1,012	764
職域3団体	6	405	429
合計	20	2,280	1,193

注) 八尾市南高安地区( )の住民健診は、「南高安地区成人病予防会」の健康診断も併せて実施したため、健診検査件数を再掲載した。

## 4 検 査

画像検査、生理検査ならびに検体検査等の検査実績を表20及び表21に示す。表20には施設における検査の項目別実績を、表21にはがん検診における

細胞診、組織診、大腸便潜血検査実績を検査項目別件数として示す。

表20 施設における検査件数

(件)

区 分		令和3年度	前年度	区 分		令和3年度	前年度
放 射 線	胃X線 (16方向)	4,663	6,120	な 生 理 検 ど 査	ピロリ菌呼気検査	10	47
	胃X線 (8方向)	2,046	2,098		ピロリ菌除菌件数	6	32
	胸部X線	11,924	13,702	検 体 検 査	便 潜 血	11,333	13,126
	胸部CT	1,310	2,591		検 尿	12,784	12,165
	マンモグラフィ	7,871	8,710		尿 沈 渣	1,368	1,184
心 電 図	11,357	10,875	血 液 検 査		12,765	12,131	
生 理 検 査 な ど	視 力 検 査	11,348	10,813	細 胞 診	子 宮 頸 部	5,852	7,796
	聴 力 検 査	11,300	10,779		子 宮 体 部	182	307
	骨 密 度	1,973	3,138		喀 痰 細 胞 診	602	755
	眼 底 検 査	7,569	7,252		乳 腺 吸 引 細 胞 診	157	170
	呼 吸 機 能 検 査	4,056	3,758		上 部 消 化 管	4,036	4,164
	腹 部 超 音 波 検 査	5,093	4,687	内 消 視 鏡 化 検 査 器	下 部 消 化 管	0	0
	腹部超音波検査(精検)	244	203		〔 上部消化管 下部消化 管の内 内 視 鏡 下 生 検 〕	(219)	(266)
	乳 腺 超 音 波 検 査	4,472	4,477			子 宮 レーザー蒸散術	12
	経 膈 超 音 波 検 査	453	492	そ 他			
	合 計						134,786

注) 数値の ( ) は再掲。

表21 細胞診・組織診・便潜血検査件数

(件)

検査内容	検査項目	依 頼 元	件 数	
			令和3年度	前 年 度
細胞診	子宮がん	車 検 診 (頸部)	9,896	7,998
		施 設 検 診 (頸部)	5,853	6,592
		” (体部)	183	178
		精 密 検 診 (頸部)	1,222	1,204
		” (体部)	135	129
		小 計	17,289	16,101
	肺がん	一 次 検 診 (喀痰)	602	755
		精 密 検 査 (喀痰)	0	0
		小 計	602	755
		乳 がん 精 密 検 診	157	170
		そ の 他	150	113
		合 計	18,198	17,139
	組織診	子 宮 がん 精 密 検 査	336	199
胃 がん 精 密 検 査		228	266	
乳 がん 精 密 検 査		36	21	
合 計		600	486	
	大 腸 便 潜 血 検 査	29,220	31,622	
	総 合 計	48,018	49,247	

## 5 医療機関との連携

大阪府医師会傘下の医療機関との連携協調を事業の柱の1つとして推進している。

医療機関との連携事業としては、各種がん検診の精密検査の受入、患者紹介、施設見学、医療技術に関する研修などが中心であり詳細は下記の通りである。

### (1) 紹介患者の受け入れ

一般医療機関などから紹介された患者については、当センターでは検査のみを実施、検査結果を当該医療機関に報告し、結果の説明、治療などは原則として紹介元の医療機関で行うという方法をとっている。

令和3年度の一般医療機関などからの精密検査紹介患者数は、胃がん検診110人、子宮がん頸部検診36人、子宮がん体部検診10人、乳がん検診125人であった。

### (2) 患者の紹介

施設及び車での集団検診の結果、要精密検査とされた者のうち、主治医あるいは近医での受診を希望する者に対しては、精密検査に必要なフィルム、データなどをそろえて紹介している。

令和3年度の精検受診者の精検実施機関の内訳は、胃がん検診では79.6%、子宮がん検診では40.8%、乳がん検診では48.8%、大腸がん検診では100%が当センター以外の医療機関での精検受診であった。

また、当センターの精密検査で手術などの治療が必要と診断された患者に対しては、患者本人や家族と相談の上、適切な病院に紹介している。

### (3) 主な紹介医療機関

病院名	紹介数
大阪国際がんセンター	75
大阪医療センター	15
大阪はびきの医療センター	8
近畿大学病院	8
市立貝塚病院	6
大阪大学医学部附属病院	4
関西医科大学附属病院	4
大阪公立大学医学部附属病院	3
八尾市立病院	3
大阪市立総合医療センター	2
大阪ブレストクリニック	2
大阪ろうさい病院	2
市立吹田市民病院	2
相原病院	1
大阪医科薬科大学病院	1
大阪急性期・総合医療センター	1
関西医科大学香里病院	1
済生会吹田病院	1
市立池田病院	1
城山病院	1
日本生命病院	1
兵庫医科大学病院	1

## 6 精度管理と研修

精度の高いがん検診を広く大阪府民に提供するためには、受診率の向上と検診そのものの精度管理が重要である。そのためには、検診に従事する者の資質の向上とがん検診の実態等の把握が必要である。

がん予防検診部門では、がん予防検診センター開設当初から、医療スタッフの技術研修や技術実習を行うとともに、がん検診の実態把握等に努めてきた。さらに、平成24年度からは大阪府からの委託を受け、組織型検診推進のための精度管理センター事業を行っている。

### (1) がん検診の実態把握

大阪府から委託を受け、精度管理基礎調査をもとに、がん検診の実態並びに検診成績等の把握を行っている。把握した調査結果は、毎年、冊子『大阪府におけるがん検診』にまとめて、大阪府内市町村や大阪府医師会等多くの関係機関に配布している。

これは、より効率的・効果的ながん検診を展開していくための基礎資料となっている。なお、これらの事業は大阪府精度管理システムを運用管理し実施している。

### (2) 市町村、検診機関支援

がん予防検診部門では調査室が中心となり、府内市町村や検診機関を対象に、がん検診精度向上に対する支援、がん検診提供体制確保に対する支援、受診率向上に対する支援を行った。支援事業内容の詳細は次頁に掲載する。

### (3) がん検診受診率向上事業

職域における精度管理されたがん検診の普及を目指すとともに、がん検診受診率を向上させ、府全域のがん検診の充実を図ることを目的に、職域のがん検診の実施主体である事業主や健康保険組合等に実施実態把握調査を行った。

### (4) 研修及び施設見学

前身のがん予防検診センター開設当初より、国内外の各方面から医療スタッフの研修生を受け入れ、研修・実習及び施設見学を多数実施してきた。

放射線技師室では、国際医療技術交流財団からの依頼を受け「JICA 医療技術スタッフ研修」として海外からの多数の技術職研修生を受け入れてきた。また、婦人科検診部でも開設当初から多くの海外研修生を受け入れ、技術研修及び技術実習を行ってきた。

これまでに、マレーシア、カンボジア、タンザニア、中国、台湾、韓国、スペイン、パラグアイ等の多くの国々から医師、放射線技師等の医療技術職研修生を受け入れた。

### 1. 検診精度の向上に対する支援

(1) 精度管理委員会開催への支援

市町村が開催する精度管理委員会における資料作成協力などを行った。

支援市町村数 乳がん：1地域  
子宮がん：1地域  
肺がん：1市1地域  
大腸がん：1市1地域  
胃がん：1市1地域

(2) 精検受診率の向上に対する支援・精度管理指標の分析

効率的な精密検査結果報告方法を検討するための助言や報告書案の作成などを行った。  
また、大阪府精度管理システムを活用し、精度管理指標の分析、評価を行った。

支援市町村数：16市町村

(3) 市町村からの電話相談・研修会の開催

《電話相談》 件数：81件

市町村がん検診担当者からの電話相談に対応した（別表1）。

《研修会》 1回 参加者 89名

市町村がん検診担当者向けの研修会をWEB開催した。（別表2）。

(別表1)

電話相談内容	件数
がん全般	11
胃がん	8
大腸がん	13
肺がん	10
子宮頸がん	15
乳がん	24
合計	81

### 2. がん検診の提供体制の確保に対する支援

(1) 実施要領や受診票の改訂に対する支援

実施要領やがん検診問診票の改訂を行う市町村に対し、内容の確認や助言を行った。

支援市町村数：6市町1地域

### 3. 受診率向上に対する支援

(1) 個別受診勧奨の推進に対する支援

個別受診勧奨を実施する市町村に対し、勧奨対象の選定、勧奨方法、対象に応じた勧奨ツールの提案を行った。また、その効果について検証した。

支援市町村数：2市

### 4. その他

(1) 大阪府精度管理システムの運用管理

43市町村運用（うち令和3年度新規導入1町）

(2) 精度管理システムの改修

胃内視鏡検診を開始した市町村についてのシステム改修を行った。

(3) 受診者数集計システムの構築

がん検診の受診者数を早期に把握計することを目的に、既存の精度管理システムの仕組みを活用し、受診者数集計システムを構築した。

## 5. がん検診受診率向上事業

保険者や事業主が任意で実施している職域におけるがん検診の実態を把握することを目的に、実態把握調査を実施し、職域におけるがん検診の現状を明らかにし、課題を検討した。

対 象 : 事業主 1,124事業所  
保険者 232組合

(別表2)

開催日	テーマ
令和3年 8月26日	指針に基づくがん検診の実施、がん検診のあり方 検討会の動向について
	精度管理センター事業の紹介
	令和元年度・2年度 大阪府受診率向上事業について
	大阪府精度管理システムと 地域保健・健康増進事業報告の注意点について
	大阪府内市町村がん検診受診者数の調査結果等 について

## 7 循環器病予防活動

循環器病予防部門では、健康科学センターで培った科学的根拠を踏まえた健康づくり技法のノウハウ等を活かし、大阪府からの受託事業として、府内の市町村の循環器病予防対策の支援として地域の健康課題の明確化や行動変容プログラムの策定・実践指導、保健指導ツールの開発を行うとともに、循環器病健診事業等を行った。

### (1) 地域の健康課題の明確化(医療費及び特定健診・特定保健指導のデータ分析)

大阪府国民健康保険団体連合会、市町村国民健康保険等にかかる特定健診、特定保健指導及び医療費のデータを分析し、市町村国保における医療費や疾病構造にかかる課題、特定健診・特定保健指導の実施状況(受診率、メタボリックシンドロームの割合等)、健診有所見者状況の課題を明らかにした。

その結果、高血圧、喫煙率をはじめとする各所見や医療費の内訳において、市町村間の差や地理的な偏在が判明し、市町村の課題に応じた対策の重点化の必要性を示した(「市町村国民健康保険及び協会けんぽにおける特定健診・特定保健指導のデータ分析並びに市町村国民健康保険、後期高齢者医療及び協会けんぽにおける医療費データ分析」報告書(令和3年度))。これらのデータを元にデータヘルス計画策定に対する助言を行っている。

また、平成27年度からは、協会けんぽデータの分析も行っている。

### (2) 行動変容プログラムの提示・普及、モニタリング調査・分析(行動変容推進事業のフォローアップ事業)

行動変容推進事業は、データ分析の結果明らかになった健康課題を踏まえ、改善策について計画・実行・評価(PDCAサイクル)を行うことで、被保険者、保険者、関係者等の問題意識を高め行動変容につなげていくことを目指している。

本年度は、前年度までに改訂されたプログラムのブラッシュアップをおこなった。また、令和2年度のモニタリング調査を実施した。令和2年1月に端を発する新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度も各種健診・検診も大きな影響を受けており、健診や保健指導の実施内容にも影響を受け、市町村からの事業に関する個別の相談へ支援や助言を実施した。(「行動変容推進事業」報告書(令和3年度))。

### (3) 循環器疾患と危険因子のモニタリング及び保健指導ツールの開発

所外健診を通じ、特定集団の健康状況にかかるデータを長期継続的に追跡・調査し、循環器疾患の発症状況や危険因子のモニタリングを実施した。また、これらの調査データの分析を通じ、特定健診の結果を活用して将来の循環器疾患の発症確率が計算できる「循環器疾患・発症予測ツール」(平成23年度に開発)をホームページで公開している。このツールはいくつかの団体でも活用されているほか、所内の保健指導においても活用されている。モデル地域・職域での健診によって蓄積されたデータ及び、その他の学術的な資料に基づき、現場の声を聞きながら、循環器疾患の予防対策に役立つ保健指導用リーフレットを作成した。今年度は、日頃からこまめに階段を使ってみませんか? 「1日350g以上の野菜を食べましょう!」をテーマとしてリーフレットを作成した。(「循環器疾患と危険因子のモニタリング、保健指導ツールの開発」報告書(令和3年度))

### (4) 総合健診事業

がん検診と循環器健診をセットにした「総合健診」を行うとともに、特定保健指導を同日実施することにより、特定健診受診率の向上に寄与した。

受診者のうち、特定保健指導(いわゆる「メタボ健診」)の対象とならないハイリスク者に対しても、保健師又は管理栄養士による個別面接を行い、「循環器疾患・発症予測ツール」を活用するなど保健指導を実施し、循環器病予防の推進に努めた。

また、これらのことにより培われた健診・保健指導の実施方法の工夫や生活習慣の改善に関する具体的な指導・助言などを、市町村の行動変容プログラムに採り入れた。

### (5) 循環器病予防のための情報発信

府民の健康指標の改善に資するため、府民、指導者、研究者に対し、循環器病・生活習慣等にかかる健康情報並びに「大阪府民の健康栄養状況」のとりまとめ、指導者養成の教材・講演内容、研究論文などをホームページで提供するとともに、大阪府、市町村と連携して、医師、保健師、管理栄養士等を対象に、特定健診・特定保健指導、禁煙支援など、健康づくりを推進するための専門研修を行った。

### (6) 調査研究事業

循環器病等の生活習慣病予防の推進を目的に、科学的根拠に基づいた実践的な健康づくり技法の開発や制度化のための調査研究を行うとともに、厚生労働省や文部科学省等の研究班の研究協力者として共同研究を行った。

令和3年度 保健事業担当者説明会

- 1 開催方法 録画配信(YouTube で限定公開)※YouTube の視聴による参加
- 2 配信期間 令和3年6月10日から6月30日(予定)
- 3 配信 URL 事前申請対象者あてにメール通知
- 4 対象者 市町村国保、衛生部門、特定健診・保健指導・がん検診・医療費適正化等担当者(技術職・事務職)等
- 5 目的 府が実施する健康づくり施策、国保ヘルスアップ支援事業、がん検診受診率向上等について、市町村担当者等が理解し、他機関と連携した効率的、効果的な保健事業を展開することができるようにする。併せて、保健事業、保健指導等の取組みのスキルアップを行う。
- 6 主催 大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課、大阪がん循環器病予防センター

プログラム内容(時間は目安)	講師等
<p><b>【第1部】</b> 大阪府及び協会けんぽ大阪支部からの情報提供(約70分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府の健康指標・健康課題</li> <li>・おおさか健活10推進プロジェクト</li> <li>・大阪府健康格差の解決プログラム促進事業 (特定健診・保健指導・働く世代からのフレイル予防)</li> <li>・大阪府のがん検診の実施状況</li> <li>・大阪府国保ヘルスアップ支援事業</li> <li>・おおさか健活マイレージ アスマイル</li> <li>・特定健診とがん検診の同時実施</li> </ul>	<p>大阪府健康医療部健康推進室 健康づくり課(唐澤)</p> <p>大阪府健康医療部健康推進室 国民健康保険課</p> <p>協会けんぽ大阪支部</p>
<p><b>【第2部】</b> 汎用性の高い行動変容プログラム(約45分)</p>	<p>大阪がん循環器病予防センター 岡田 武夫</p>
<p><b>【第3部】</b> 医療費データ、特定健診・特定保健指導データ分析結果(約60分)</p>	<p>大阪がん循環器病予防センター 清水 悠路 (アシスタント)</p> <p>大阪府健康医療部健康推進室 健康づくり課 間島亜希子</p>

## 令和3年度 行動変容推進事業フォローアップ研修会

- 1 と き 令和3年9月21日(火) 13時30分～17時00分(受付:13時から)
- 2 と ころ 大阪がん循環器病予防センター 6階 講堂
- 3 開催形式 Web開催(Web環境の整っていない市町村は会場参加)  
\*府保健所、栄養士会は原則Web参加とする
- 4 対 象 市町村国保、衛生部門、特定健診・保健指導等従事者・担当者(技術職・事務職)、  
府保健所企画調整課担当者、その他 関係機関担当者 等
- 5 目 的 効果的に生活習慣病予防の保健指導を行うためのより実践的知識を学び、保健事業従  
事者のスキルアップを図ると共に、汎用性の高い行動変容プログラムに基づく取り組み  
の推進を図る。
- 6 主 催 大阪がん循環器病予防センター(大阪府委託)  
\*本研修会は、大阪府健康推進室健康づくり課、公益社団法人大阪府栄養士会主催の  
府保健所及び市町村栄養士等合同研修会としても実施しております。

### プログラム

時間	プログラム内容	講師等
13:30	挨拶(5分)	大阪がん循環器病予防センター 木山 昌彦
13:35	第1部 報告(60分) ・大阪府から報告 働く世代からのフレイル予防 国保事業(ヘルスアップ支援事業関連) 大阪府栄養士会からのお知らせ ・汎用性の高い行動変容プログラムフォローアップ講座 市町村アンケートの結果報告	大阪府健康医療部健康推進室ほか  大阪がん循環器病予防センター 岡田 武夫
14:35	休憩(10分)	
14:45	第2部 「市町村の取組の事例紹介とシンポジウム」(60分) ・市町村アンケートから事例を紹介 ・市町村担当者からの報告 ・高鳥毛教授と市町村担当者との意見交換とシンポジウム	<座長> 大阪がん循環器病予防センター 木山 昌彦 <進行> 大阪がん循環器病予防センター 岡田 武夫
15:45	休憩(10分)	<コーディネーター> 関西大学社会安全学部 教授 高鳥毛 敏雄 <報告者> 市町村担当者
15:55	「講演」(60分) ・講師紹介 ・講演「(仮)コロナ禍における健康づくり」(60分) 関西大学社会安全学部 教授 高鳥毛 敏雄	
16:55	その他(連絡事項、アンケート記入等) 終了予定	

## IV 広報活動

## 1 概 要

広報活動として、がん及び生活習慣病に関する知識の啓発・普及活動並びに、当センターの事業紹介を行っている。

保健所や府内市町村などの協力も得て、喫煙習慣や食生活などの生活習慣の改善、がんの早期発見のために、がん検診を受診することの重要性などについての知識の普及を目指している。

また、所外で開催される研修会・講演会等に職員を講師として派遣している。

## 2 がん予防キャンペーン大阪2021

令和3年9月～令和4年3月にかけて、大阪府、大阪市、大阪府医師会をはじめ公衆衛生関係団体や婦人団体など計10団体で構成する「がん予防キャンペーン大阪」実行委員会（事務局：当センター）の主催の下でキャンペーンを開催した。

検診受診率の向上は、がん対策の大きな柱である。がんについての正しい知識を広く提供し、大阪府のがん検診受診率を向上させるために、府民を対象に講演会を毎年開催している。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ『受けようがん検診！～コロナ禍でも早期に発見を～』というテーマで講演動画をWeb上に公開した。

また、前年に引き続き、当センターのホームページにおいて、作成した教材を閲覧及びダウンロードできるようにし、継続したがん予防のための啓発活動を展開した。事業内容の詳細は次頁に掲載する。

## 3 オンライン市民公開セミナー

「がん検診がきっとあなたを救う 早期発見が大切」をメインテーマに、当センターホームページ上に特設ページを開設し、オンライン市民公開セミナーを開催した。

講 演 タ イ ト ル	講 師
健（検）診の意義 — 備えあれば憂いなし！	伊藤 壽記
ヒートアップしている呼吸器の病気	今村 文生
なぜ子宮頸がん検診を受けるのか？	杉田 道夫
プレストアウェアネスって知っていますか？	濱田 未佳
脳卒中や心臓病にならないようにするには	木山 昌彦
メタボリック症候群と特定保健指導	岡田 武夫
知っていますか？前立腺がん、腎臓がん	大阪国際 がんセンター 西村 和郎
高齢者疾患（認知症、誤嚥性肺炎、フレイル）	伊藤 壽記
上部・下部消化器がん検診について	林 暢彦
超音波検査で見つける肝臓・胆嚢・膵臓の病気	田中 幸子

## 1. Webでの動画公開

新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえWeb上での講演動画の公開し、啓発をおこなった。

### (1) Web講演会

- テーマ 『受けようがん検診！～コロナ禍でも早期に発見を～』
- 掲載期間 令和3年10月1日～令和4年3月31日
- 掲載場所 大阪がん循環器病ホームページ内 がん予防キャンペーン大阪2021ページ
- 内容及び講師等  
講演の動画  
『コロナ禍でも、先送りはいけない がんのこと』  
中山 富雄氏(国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部 部長)  
がん検診の動画(6種類)  
『おおさか 受けてや!! がん検診』と題した6種類の動画  
(がん検診編・胃がん検診編・大腸がん検診編  
肺がん検診編・子宮頸がん検診編・乳がん検診編)
- 視聴数 のべ 9,173回

### (2) 広報活動

- 新聞等 府政だより、市政だより
- チラシ・ポスター 各市町村、保健所、主催団体、協賛団体 等
- ホームページ等 主催団体HP、泉大津市HP 等
- その他 大阪府アスマイルアプリ、大阪府報道発表、大阪市報道発表

## 2. がん検診啓発DVDの作成

がん検診啓発動画「おおさか 受けてや!! がん検診」を収めたDVDを作成した。

## 3. 啓発資料の作成・増刷

- 1) プレストアウェアネスカード (作成) (A6版 カラー 16,000枚)
- 2) 5がん検診啓発リーフレット (増刷) (A4版 カラー 10,000部)
- 3) プレストアウェアネスカード (増刷) (A6版 カラー 10,000枚)

#### 4. 2021年版がん予防啓発冊子等の配布

がん予防のための正しい知識を掲載した冊子等が、一人でも多くの府民の手に届くよう、各関係機関等の協力を得て、場所や経路に応じた配布を行った。

(別表1) 9月のがん征圧月間に配布した機関および冊子枚数一覧表

	がん検診啓発リーフレット	ブレストアウェアネスカード
主 催 団 体	各50部 合計250部	各50部 合計250部
大 阪 府	5部	10部
大阪府医師会 (郡市区医師会64カ所)	10部と各50部 合計3,210部	10部と各50部 合計3,210部
大 阪 市 (保健センター24カ所)	各100部 合計2,500部	各100部 合計2,500部
東大阪市、堺市 摂津市 (13カ所)	各100部 合計1,300部	各100部 合計1,300部
府内市町村 (39カ所) 豊中市は1カ所に200部	各100部 合計3,900部	各100部 合計3,900部
大阪府保健所 (9カ所)	各50部 合計450部	各50部 合計450部
合 計	11,615部	11,620部

#### 5. その他の資料の配布状況

啓発資料の追加を希望する団体には過去のがん予防キャンペーン大阪で作成した資料も含めて配布した。

(別表2) その他の資料の配布状況 (追加希望等)

資料の種類	作成年度	市町村	医療機関 その他	計
あなたはもう受けましたか？乳がん検診を！	2018	900	71	971
乳がん自己触診カード	2012	1,400	100	1,500
子宮がん検診 早期発見が決めて！	2020	600	50	650
がん検診啓発リーフレット	2020	700	0	700
大腸がん検診	2018	0	91	91
肺がん検診啓発リーフレット	2016	0	50	50
胃がん検診啓発リーフレット	2017	0	70	70
ブレストアウェアネスカード	2021	1,750	90	1,840

#### 6. 乳房触診モデルの貸し出し

乳がん検診受診の啓発を目的とし、社内啓発や乳がん検診啓発イベントで活用いただける、乳房触診モデルの無償貸出しを行った。

貸出し機関数 5 機関 ・ 貸出し回数 7 回

**【主催団体】** 大阪府／大阪市／(一社)大阪府医師会／(公財)大阪対がん協会／(一財)大阪府結核予防会  
大阪府地域婦人団体協議会／大阪市地域女性団体協議会／(公財)大阪成人病予防協会  
当センター(事務局)

**【協賛団体】** 東京海上日動火災保険(株)／東京海上日動あんしん生命保険(株)

## 4 講師派遣

大阪府内市町村や医師会、企業の健康保健組合等からの依頼により、市町村や企業の健康保険組合等が主催する研修会・講演会に講師等として職員を派遣し、がん・循環器疾患に関する知識の啓発・普及に努めた（表22）。

表22 講師派遣実績表

《伊藤 壽記 所長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
学会認定研修セミナーpart 5. 「がん・生活習慣病」	日本統合医療学会	WEB	令和3年 6月19日
学会認定研修セミナーpart 5. 「健康と病気の概念」	日本統合医療学会	WEB	令和3年 6月20日
講義：「臨床医学特論」全人的統合医療	大阪大学大学院医学系研究科医学科教育センター	WEB	令和3年 7月8日
腹部超音波検査とCKDセミナー 座長	大塚製薬株式会社	WEB	令和3年 10月27日
学会認定研修セミナーpart 1. 「統合医療とは？医療モデルと社会モデル、統合医療におけるEBM」	日本統合医療学会	WEB	令和4年 3月19日
コロナ特別セミナー2022「コロナ禍と今後の医療を考える」	日本統合医療学会	WEB	令和4年 3月20日

〈がん予防検診部門〉

《三浦 一利 放射線技師室長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
適切な追加撮影をするためにバリウムの動かし方について（後壁上部）	大阪消化管撮影技術研究会	WEB	令和3年 7月3日
健診施設のコロナ対策 （感染予防対策を実施して1年経過後の現状・評価および胃X線検査時の感染予防対策）	大阪消化管撮影技術研究会	WEB	令和3年 9月4日
適切な追加撮影をするためにバリウムの動かし方について（大彎）	大阪消化管撮影技術研究会	WEB	令和3年 10月2日

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
胃X線バリウム検査における誤嚥について	大阪消化管撮影技術研究会	WEB	令和4年 1月8日
Withコロナ時代における胃がん検診	第47回日本消化器がん検診学会近畿支部放射線研修会	WEB	令和4年 2月26日

#### 〈循環器病予防部門〉

《木山 昌彦 副所長兼循環器病予防健診部長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
第57回日本循環器病予防学会学術集会 一般演題口述10「臨床・予後予測」 座長	第57回日本循環器病予防学会学術集会運営事務局	WEB	令和3年 6月6日
筑波大学非常勤講師 「機能・構造と病態Ⅰ」	筑波大学医学医療 エリア支援室総務	筑波大学	令和3年 10月5日
生活習慣病・フレイル予防教室 今日から見直す生活習慣 ～自分の身体を大切にしよう～	池田市	池田市保健福祉 総合センター3階	令和3年 10月12日

《岡田 武夫 予防推進部長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
令和3年度4年次環境医学・公衆衛生学実習の指導（計20回）	大阪大学医学部	WEB	令和3年 4月8日～ 10月14日
令和3年度箕面市食生活改善推進員（ヘルスメイト）養成講座「府民の健康状況と生活習慣病予防」	箕面市みどりまちづくり部 箕面産と食の推進室	箕面市総合保健福祉センター分館 2階講堂	令和4年 1月6日
特定健康診査結果説明会 「特定健康診査の見方と生活習慣病予防について」	泉佐野市健康福祉部	エブノ泉の森ホール 2階レセプションホール	令和4年 3月13日

## 5 その他

### パンフレットの作成と配布

当センターの事業内容の紹介とがんの知識の啓発普及を図るために、当センターで作成したパンフレット類を希望する市町村や職域団体などに配布している。また、大阪府が発行しているパンフレットに当センター職員医師が委員として作成に携わっている。

- ◇大阪がん循環器病予防センター  
(センター紹介)
- ◇検診のご案内
- ◇自己検診で早期発見（乳がん自己検診法）
- ◇女性と健康小読本（大阪府発行）

## V 受診者満足度調査

## 1 概 要

大阪がん循環器病予防センターでは、平成21年度から、受診者を対象としてアンケート方式による受診者満足度調査を実施してきた。

アンケートは施設と検診車での受診者、それぞれ500人を目処に自己記入方式により実施してきたが、平成29年度からは施設、検診車隔年ごとに実施することにした。

令和3年度の実施期間及び回答者数は次のとおりである。

・施設 10月20日から10月26日まで 550人

### (1) 年齢

「50歳代」が25.8%と最も多く、次いで「40歳代」24.9%、「60歳代」19.8%の順であった。

### (2) 性別

「女性」64.2%、「男性」35.8%の割合で、女性の比率がやや高かった。

### (3) 受診項目

「大腸がん検診」18.8%、「定期健診・人間ドック」16.9%、「乳がん検診」16.7%、「胃がん検診」16.5%、「肺がん検診」14.0%、「子宮がん検診」13.1%の割合であった。

### (4) 受診した理由（複数回答）

「毎年受診」27.8%、次いで「企業(団体)の指定」21.0%、「交通アクセスが良い」10.4%、「スタッフの対応が良い」9.2%、「市町村の住民健診で指定」7.1%、「検診精度が高い」が5.2%、「評判が良い」4.4%の順となっている。

### (5) 検診スタッフの言動・態度

「満足」90.8%、「ほぼ満足」7.0%で併せて97.8%を占め、「満足」は前回に比べ1.7ポイント増加した。  
(表25)

### (6) 診察、健診等の十分な説明

「満足」92.1%「ほぼ満足」4.6%で併せて96.7%を占めており、前回と比較して0.1ポイント減少しているが、「満足」が1.8ポイント増加した。

(表26)

### (7) 健診にかかった時間

「思ったより早く受診できた」49.9%、「普通」42.2%、「思った以上に時間がかかった」7.9%となっている。

### (8) 次回も当センターを受診したいと思うか

「はい」と回答した受診者が93.0%、「いいえ」7.0%となっており、ほとんどの受診者が次回も当センターで受診したいと思っている。

### (9) センターに対する要望、改善点について

自由記載による当センターに対する要望や改善点についての質問では、全体で119件の意見があり、その内「感謝や満足、励まし」が53件で最も多く、全体の45.0%であった。

次いで「対応」に関する意見が多く24件20.0%であった。

表25 検診スタッフの言動・態度に対する満足度

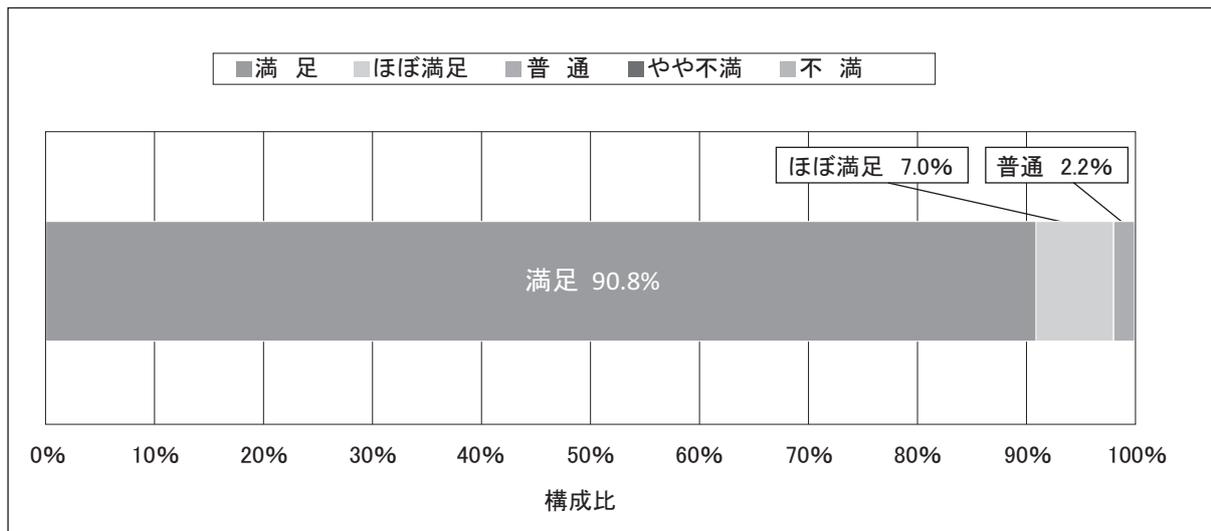
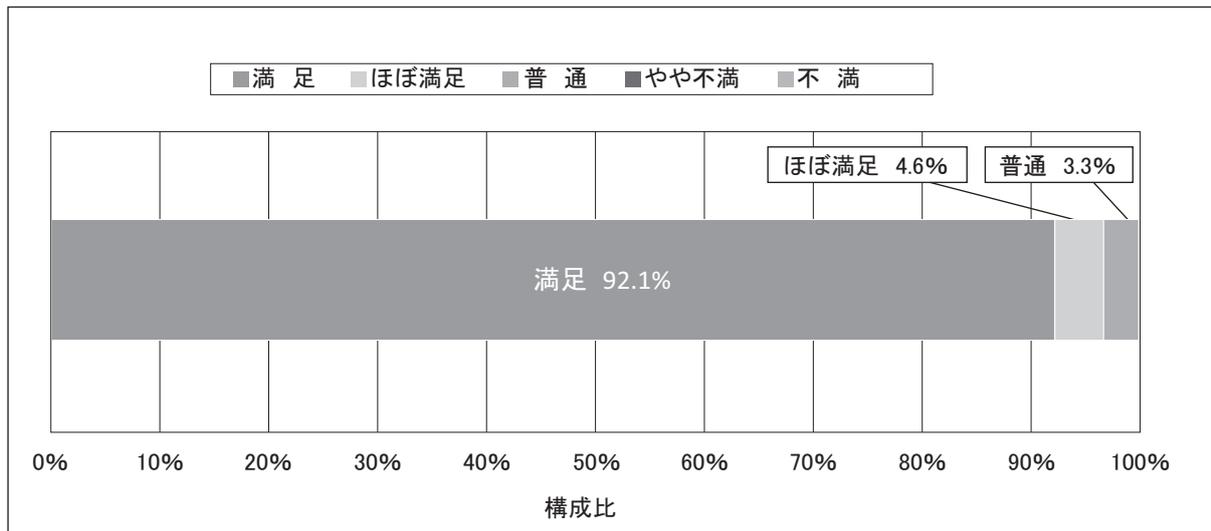


表26 診察、健診等の十分な説明に対する満足度



## 2 アンケート結果についての対応

本アンケートの結果を各所属に配布し、アンケートに寄せられた要望や改善点等の対応について、意見の提出を求めた。各所属では、まとめた意見をもとに順次改善のための対応を行うなど、アンケート結果を踏まえ、できるだけ多くの受診者の方に満足していただけるよう、今後ともセンター全職員「おもてなし」の心で対応させていただきたい。



## VI 研究及び研究支援

## 1 概 要

当センターでは、日常の検診業務、広報活動の他、国などの機関からの研究助成を受けて、がん及び循環器病の予防に向けた研究活動を行っている。職員は、専門領域での新技術の開発研究や検診の実態調査、疾患予防のための知識の普及活動にも取り組み、多くの関連学会・研究会の役員として活躍している。国など

の機関からの研究助成金、学会・研究会などの役員・委員、学会発表、学術講演、研究論文、著書などを以下に掲載する。

また、がん予防に関する研究やがん検診の普及活動などを行っている大阪府内の個人や団体を対象とした研究助成金の交付も行っている。

## 2 国などの研究班への参加

研究費名	研究班名	参加者
日本医療研究開発機構（AMED） 革新的がん医療実用化研究開発事業（佐川班）	低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験および大規模コホート研究	伊藤 壽 記 （研究分担者）
厚生労働科学研究費補助金 （循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）	生涯にわたる循環器疾患の個人リスクおよび集団リスクの評価ツールの開発及び臨床応用のための研究	木 山 昌 彦 （研究分担者）
科学研究費助成事業 （科学研究費補助金） 基盤研究 A	長期コホート研究による細菌・ウイルス感染の認知症発症への関与の疫学的解明	木 山 昌 彦 （研究分担者）
科学研究費助成事業 （科学研究費補助金） 基盤研究 B	フレイル発症に及ぼす生活因子、医学的因子、社会的因子の影響：年齢層による差異	木 山 昌 彦 （研究分担者）
	脳卒中発症に及ぼす身体心理社会的因子の寄与率の時代変遷についての疫学研究	木 山 昌 彦 岡 田 武 夫 （研究分担者）
	大規模コホート研究の統合解析による認知症予防エビデンスの究明	清 水 悠 路 （研究分担者）
科学研究費助成事業 （学術研究助成基金助成金） 基盤研究 C	大腸がん検診における組織型検診をめざした受診行動サポートシステムの構築	木 山 昌 彦 （研究分担者）
科学研究費助成事業 （学術研究助成基金助成金） 挑戦的研究（萌芽）	脳－腸－脂肪連関における腸内細菌叢の測定意義についての疫学研究	木 山 昌 彦 （研究分担者）

### 3 各種役員・委員

#### 【伊藤壽記 所長】

- ・日本組織移植学会 理事
- 同 評議員
- 同 規約委員会委員長
- ・日本臓器保存生物医学学会 監事
- 同 評議員
- ・日本統合医療学会 理事長
- ・日本機能性食品医用学会 理事
- ・大阪対がん協会 参与
- ・統合医療機能性食品国際学会 (ICNIM) 会長
- ・NPO 奄美機能性食品開発研究会 理事

#### 【田中幸子 顧問】

- ・日本人間ドック学会 理事

#### 〈がん予防検診部門〉

##### 【今村文生 副所長兼放射線検診部長】

- ・呼吸器内視鏡学会 評議員
- ・大阪府がん対策推進委員会 委員

##### 【和田公子 乳腺検診部長】

- ・吹田市乳がん検診精度管理委員会 委員

##### 【池宮城賀恵子 調査室長】

- ・日本消化器がん検診学会 検診従事者委員
- ・日本消化器がん検診学会 近畿支部保健衛生研修委員会 委員長

##### 【三浦一利 診療放射線技師室長】

- ・大阪消化管撮影技術研究会 幹事
- 同 編集委員
- ・日本消化器画像診断情報研究会 世話人
- ・日本消化器がん検診学会 近畿支部放射線研修委員会 委員

##### 【久保文裕 診療放射線技師室室長代理】

- ・日本消化器がん検診学会 近畿支部放射線研修委員会 委員

#### 【稲葉有美江 診療放射線技師室副主査】

- ・日本消化器がん検診学会 近畿支部放射線研修委員会 委員

#### 【楠本美千代 診療放射線技師室副主査】

- ・大阪府診療放射線技師会 組織部 理事

#### 【末廣彬人 診療放射線技師副主査】

- ・大阪消化管撮影技術研究会 編集委員

#### 〈循環器病予防部門〉

##### 【木山昌彦 副所長兼循環器病予防健診部長】

- ・八尾市衛生問題対策審議会 委員
- ・八尾市健康日本21八尾計画 及び食育推進計画審議会 委員
- ・井川町健康づくり管理指導委員会 委員
- ・大阪府食育推進計画評価審議会 委員
- ・泉佐野市保健対策推進協議会 委員
- ・伊丹市保健医療推進協議会 委員
- ・大阪府健康づくりアワード 審査委員
- ・日本循環器病予防学会 評議員
- ・日本公衆衛生学会 代議員

##### 【岡田武夫 予防推進部長】

- ・日本医療情報学会 評議員
- ・大阪府国民健康保険団体連合会 保健事業支援・評価委員会 委員

##### 【清水悠路 健康開発部長】

- ・日本疫学会 代議員
- ・日本公衆衛生学会 代議員
- ・大阪府国民健康保険団体連合会 保健事業支援・評価委員会 委員
- ・Sigma XI (The Scientific Research Honor Society) 委員

##### 【本田瑛子 保健師副主査】

- ・大阪府国民健康保険団体連合会 保健事業支援・評価委員会 委員

## 4 学会及び学術集会主催

1. 会 名： 大阪府診療放射線技師会組織部研修会（中央ブロック）  
会 期： 令和4年2月5日  
会 場： WEB 開催  
司会・座長： 楠本美千代

## 5 学会発表及び学術講演

### 〈所長〉

1. Present status and perspective of integrative medicine in Japan  
The 3rd National Congress of Integrative Medicine in Spain; 2021年5月 Madrid  
T. Ito
2. 全人的統合医療  
第16回日本レーザーリプロダクション学会; 2021年8月 神戸市 (WEB)  
伊藤壽記
3. コロナ禍と今後の医療を考える  
第25回日本統合医療学会; 2021年12月 京都市 (WEB)  
伊藤壽記
4. がん治療における抗酸化サプリメント使用の是非  
第19回日本機能性食品医用学会; 2021年12月 京都市 (WEB)  
安枝明日香, 伊藤壽記
5. 頭頸部がん化学放射線療法下の口腔粘膜障害に対するLグルタミンの投与効果と遠隔期成績に与える影響  
第19回日本機能性食品医用学会; 2021年12月 京都市  
辻本貴江, 和佐勝史, 猪原秀典, 伊藤壽記
6. 発酵大豆テンペ (Tempe) 摂取による便秘改善作用とその評価  
第19回日本機能性食品医用学会; 2021年12月 京都市  
太田美穂, 中川 学, 新宅賀洋, 東城博雅, 伊藤壽記
7. Clinical outcome of pancreas transplantation from expanded criteria donors: from a single-center experience  
International pancreas & islet transplant Association (IPITA) 2021; 2021年10月  
Y. Tomimaru, S. Kobayashi, T. Ito, K. Sasaki, Y. Iwagami, D. Yamada, T. Noda, H. Takahashi, Y. Doki, H. Eguchi
8. Clinical impact of pancreas donor age on outcomes following pancreas transplantation: analysis of a nationwide registry in Japan  
33rd Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary Pancreatic Surgery; 2021年7月 Osaka, Japan  
Y. Tomimaru, S. Kobayashi, T. Ito, Y. Iwagami, D. Yamada, H. Akita, T. Noda, H. K. Gotoh, T. Kenmochi, Y. Doki, H. Eguchi

9. **Clinical significance of donor-specific antibody against human leukocyte antigen in pancreas transplantation**  
33rd Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary Pancreatic Surgery ; 2021年7月 Osaka, Japan  
K. Toya, Y. Tomimaru, S. Kobayashi, T. Ito, Y. Iwagami, D. Yamada, H. Akita, T. Noda, K. Gotoh, Y. Doki, H. Eguchi
10. **当院脳死膵腎同時移植における予想臓器搬送時間に基づく簡便な臓器阻血時間予測式の構築**  
第47回日本臓器保存生物医学会 ; 2021年11月 東京都  
富丸慶人, 小林省吾, 伊藤壽記, 佐々木一樹, 岩上佳史, 山田大作, 秋田裕史, 野田剛広, 後藤邦仁, 高橋秀典, 土岐祐一郎, 江口英利
11. **本邦の脳死・心停止膵臓移植の現況と課題 ; 膵臓移植症例登録の解析より**  
第52回日本膵臓学会大会 ; 2021年9月 東京都  
富丸慶人, 小林省吾, 伊藤壽記, 岩上佳史, 山田大作, 秋田裕史, 野田剛広, 後藤邦仁, 釧持 敬, 土岐祐一郎, 江口英利
12. **長期成績向上を目指した原因別の膵臓移植グラフト喪失の検討**  
第57回日本移植学会総会 ; 2021年9月 東京都  
富丸慶人, 小林省吾, 伊藤壽記, 佐々木一樹, 岩上佳史, 山田大作, 秋田裕史, 野田剛広, 後藤邦仁, 釧持 敬, 土岐祐一郎, 江口英利
13. **高度石灰化のためにグラフト動脈を右腎動脈と吻合した脳死膵移植の1例**  
第57回日本移植学会総会 ; 2021年9月 東京都  
遠矢圭介, 富丸慶人, 小林省吾, 伊藤壽記, 佐々木一樹, 岩上佳史, 山田大作, 秋田裕史, 野田剛広, 後藤邦仁, 高橋秀典, 今村亮一, 土岐祐一郎, 江口英利
14. **膵臓移植における心血管イベントリスクの減少効果の検討**  
第57回日本移植学会総会 ; 2021年9月 東京都  
高市翔平, 富丸慶人, 小林省吾, 伊藤壽記, 佐々木一樹, 岩上佳史, 山田大作, 秋田裕史, 野田剛広, 後藤邦仁, 高橋秀典, 今村亮一, 土岐祐一郎, 江口英利
15. **膵臓移植における血管吻合困難例に対する工夫**  
第75回手術手技研究会 ; 2021年5月 静岡県  
遠矢圭介, 富丸慶人, 小林省吾, 伊藤壽記, 岩上佳史, 山田大作, 秋田裕史, 野田剛広, 後藤邦仁, 土岐祐一郎, 江口英利
16. **腹部大動脈石灰化が脳死膵臓移植の術後成績に与える影響**  
第76回日本消化器外科学会総会 ; 2021年7月 京都市  
富丸慶人, 小林省吾, 伊藤壽記, 岩上佳史, 山田大作, 秋田裕史, 野田剛広, 後藤邦仁, 土岐祐一郎, 江口英利
17. **脳死膵臓移植後のグラフト血栓症の現状と対策**  
第83回日本臨床外科学会総会 ; 2021年11月 東京都  
富丸慶人, 小林省吾, 伊藤壽記, 岩上佳史, 山田大作, 秋田裕史, 野田剛広, 後藤邦仁, 土岐祐一郎, 江口英利
18. **膵臓移植後生存率向上を目指した原因別の膵臓移植後グラフト 喪失の検討 本邦膵臓移植症例登録の解析**  
第121回日本外科学会定期学術集会 ; 2021年4月 千葉市  
富丸慶人, 小林省吾, 伊藤壽記, 岩上佳史, 山田大作, 秋田裕史, 野田剛広, 後藤邦仁, 土岐祐一郎, 江口英利

#### 〈がん予防検診部門〉

1. **当センターでのブレストアウェアネスの普及について～2019年度紹介症例からの検討～**  
第31回日本乳癌検診学術総会；2021年11月 京都  
濱田未佳， 苅田真子， 岩崎悦子， 相川隆夫， 和田公子
2. **救命可能な膵癌発見を目指して**  
日本消化器がん検診学会 医師研修会；2021年6月 WEB  
田中幸子
3. **人間ドック超音波検査のレベルアップのために何が必要か**  
**腹部超音波検診判定マニュアル改訂版(2021年)のご紹介**  
日本人間ドック学会第62回学術大会；2021年9月 WEB  
田中幸子
4. **超音波スクリーニングで見分ける腎嚢胞**  
腹部超音波検査とCKDセミナー；2021年10月 大阪  
田中幸子
5. **検診超音波左肋間走査で見えられた膵尾部・脾門部付近の腫瘍像**  
日本超音波医学会第94回学術集会；2021年5月 神戸  
杉本安莉， 西山ひろみ， 中川智美， 原 綾野， 宮本美佳子， 吉野千香， 高倉玲奈， 池澤賢治， 大川和良，  
田中幸子
6. **乳がん検診受診支援につながる取り組み**  
第31回日本乳癌検診学術総会；2021年11月 京都  
浅井恵美子， 對馬正美， 山岸知子， 植原茂美， 清水里美， 新堂智恵， 長濱桂子， 松本雅子， 岡 由紀子，  
苅田真子， 相川隆夫， 濱田未佳， 和田公子

#### 〈循環器病予防部門〉

1. **高血圧高齢者における VEGF 一塩基多型(rs3025039)と動脈硬化の関係**  
第82回日本生理人類学会総会；2021年10月 WEB 開催  
清水悠路， 有馬和彦， 野口優子， 延末謙一， 山梨啓友， 川尻真也， 前田隆浩
2. **健診受診者に見る慢性腎臓病の頻度とその要因について**  
第80回公衆衛生学会総会；2021年12月 ハイブリッド開催  
岡田武夫， 高田 碧， 清水悠路， 本田瑛子， 佐々木なぎさ， 木山昌彦
3. **特定健診受診者における血清アルブミン値と身長低下の関係**  
第80回公衆衛生学会総会；2021年12月 ハイブリッド開催  
清水悠路， 高田 碧， 岡田武夫， 木山昌彦
4. **大量機会飲酒を考慮した、飲酒と脳卒中との関連：The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)**  
第80回公衆衛生学会総会；2021年12月 ハイブリッド開催  
高田 碧， 山岸良匡， 清水悠路， 村木 功， 田中麻理， 羽山実奈， 梅澤光政， 今野弘規， 山海知子，  
岡田武夫， 北村明彦， 木山昌彦， 磯 博康
5. **非肥満の非糖尿病患者における血糖変動パターンに影響を与える食生活等の検討**  
第80回公衆衛生学会総会；2021年12月 ハイブリッド開催  
宮崎純子， 伯井朋子， 石丸佳奈， 佐々木なぎさ， 本田瑛子， 高田 碧， 羽山実奈， 岡田武夫， 木山昌彦

6. **新型コロナウイルス感染症流行による働き方、生活習慣への影響について（第1報）**  
第80回公衆衛生学会総会；2021年12月 ハイブリッド開催  
石丸佳奈, 伯井朋子, 佐々木なぎさ, 宮崎純子, 本田瑛子, 岡田武夫, 木山昌彦
7. **新型コロナウイルス感染症流行による働き方、生活習慣への影響について（第2報）**  
第80回公衆衛生学会総会；2021年12月 ハイブリッド開催  
伯井朋子, 石丸佳奈, 佐々木なぎさ, 宮崎純子, 本田瑛子, 岡田武夫, 木山昌彦
8. **機能的動脈硬化指標と器質的動脈硬化指標との関係**  
第3回臨床血管健康 Web 研究会；2021年12月 WEB 開催  
清水悠路, 前田隆浩
9. **成人における高血圧の身長低下への影響の検討**  
第32回日本疫学会総会；2022年1月 WEB 開催  
清水悠路, 早川英伸, 佐々木なぎさ, 高田 碧, 岡田武夫, 木山昌彦
10. **Circulating CD34-positive cell levels determine the association between handgrip strength and hypertension among elderly men**  
4th Japan-Germany Symposium on Advanced Preventive Medicine；2022年2月 WEB 開催  
Yuji Shimizu
11. **CD34陽性細胞の動脈硬化及び高血圧への関与に関する疫学研究**  
第92回日本衛生学会総会；2022年3月 WEB 開催  
清水悠路, 川尻真也, 山梨啓友, 木山昌彦, 林田直美, 永田康浩, 前田隆浩
12. **高齢男性における CD34陽性細胞数と身長低下の関係**  
第92回日本衛生学会総会；2022年3月 WEB 開催  
清水悠路, 川尻真也, 山梨啓友, 木山昌彦, 林田直美, 永田康浩, 前田隆浩

## 6 研究論文・著書

### 〈所長〉

1. Immersive virtual reality reminiscence reduces anxiety in the late elderly without causing serious side effects: A single-center, pilot, and randomized crossover study.  
Frontiers in Human Neuroscience, section Brain Imaging and Stimulation 2021 ; 14:Article 598161  
K. Niki, M. Yahara, M. Inagaki, N. Takahashi, A. Watanabe, T. Okuda, M. Ueda, D. Iwai, K. Sato, T. Ito
2. Patients' effective radiation dose during X-ray screening for gastric cancer using flat-panel detector digital radiography.  
Bulletin of Btsuryo College of Osaka 2021 ; 9:1-8  
T. Ogawa, F. Fujiwara, T. Ito
3. Remote reminiscence using immersive virtual reality may be efficacious for reducing anxiety in patients with mild cognitive impairment even in COVID<sup>^</sup>-19 pandemic: A case report.  
Biological and Pharmaceutical Bulletin 2021 ; 44(7) : 1019-1023  
M. Yahara, K. Niki, K. Ueno, M. Okamoto, T. Okuda, H. Tanaka, Y. Naito, R. Ishii, M. Ueda, T. Ito
4. Effective dose in gastric X-ray examination using a flat-panel detector compared with a radiological image intensifier.  
ABulletin of Btsuryo College of Osaka 2021 ; 10  
K. Yamamoto, T. Ogawa, F. Fujiwara, T. Ito
5. A case of intraductal papillary mucinous neoplasm developing in the native pancreas after pancreas transplantation treated by total pancreatectomy.  
Clin J Gastroenterol 2022  
H. Sato, Y. Tomimaru, H. Akita, S. Kobayashi, T. Ito, K. Sasaki, Y. Imagami, D. Yamada, T. Noda, K. Gotoh, H. Takahashi, N. Hama, T. Asaoka, M. Tanemura, Y. Doki, H. Eguchi

〈がん予防検診部門〉

1. 腹部超音波検診判定マニュアル改訂版（2021年）発行に際して  
人間ドック 2021 ; 36 : 1-2  
田中幸子
2. 人間ドックにおけるがん登録-2018年度の成績- 検診施設におけるがん検診の精度向上支援委員会  
人間ドック 2021 ; 36 : 52-68  
三原修一, 鎌田智有, 井上和彦, 杉森祐樹, 田中幸子
3. “胃集団検診”から“消化器集団検診”へ: 検診における腹部超音波検査の展望  
日本消化器集団検診学会近畿支部50回のあゆみ 2022 : 56-67  
田中幸子

〈循環器病予防部門〉

1. Newly diagnosed disease and job loss: a nationwide longitudinal study among middle-aged Japanese  
Occup Environ Med 2021 ; 78(4) : 279-285  
Takada M, Tabuchi T, Iso H
2. Body Mass Index and Mortality From Aortic Aneurysm and Dissection.  
J Atheroscler Thromb 2021 ; 28(4) : 338-348  
Takada M, Yamagishi K, Tamakoshi A, Iso H; JACC Study Group.
3. Salt taste perception and blood pressure levels in population-based samples: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)  
Br J Nutr 2021 ; 125(9) : 1080  
Kudo A, Kitamura A, Imano H, Cui R, Umesawa M, Yamagishi K, Ohira T, Muraki I, Hayama-Terada M, Kiyama M, Iso H; CIRCS investigators
4. Oral health-related quality of life is associated with physical frailty: A cross-sectional study of Japanese community-dwelling older adults  
J Gen Fam Med 2021 ; 22(5) : 271-277  
Motoishi Y, Yamanashi H, Kitamura M, Hayashida H, Kawasaki K, Nobusue K, Nonaka F, Honda Y, Shimizu Y, Kawashiri SY, Tamai M, Nagata Y, Saito T, Maeda T
5. Impact of Perceived Social Support on the Association Between Anger Expression and the Risk of Stroke: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)  
J Epidemiol 2021 ; Online ahead of print  
Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Muraki I, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Imano H, Okada T, Kiyama M, Iso H.
6. Relationship between Endothelial Dysfunction and Prevalence of Chronic Kidney Disease: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)  
J Atheroscler Thromb 2021 ; 28(6) : 622-629  
Li Y, Cui R, Liu K, Eshak ES, Cui M, Dong J, Imano H, Muraki I, Kiyama M, Kitamura A, Okada T, Yamagishi K, Umesawa M, Ohira T, Iso H; CIRCS investigators
7. Associations between handgrip strength and hypertension in relation to circulating CD34-positive cell levels among Japanese older men: a cross-sectional study  
Environ Health Prev Med 2021 ; 26(62)  
Shimizu Y, Kawashiri SY, Nobusue K, Yamanashi H, Nagata Y, Maeda T

8. **HbA1c is inversely associated with thyroid cysts in a euthyroid population: A cross-sectional study**  
 PLoS One 2021 ; 16(6) : e0253841  
 Shimizu Y, Kawashiri SY, Noguchi Y, Nagata Y, Maeda T, Hayashida N
  
9. **Effects of brief self-exercise education on the management of chronic low back pain: A community-based, randomized, parallel-group pragmatic trial.**  
 Mod Rheumatol 2021 ; 31(4) : 890-898  
 Jinnouchi H, Matsudaira K, Kitamura A, Kakihana H, Oka H, Hayama-Terada M, Yamagishi K, Kiyama M, Iso H
  
10. **Association between thyroid cysts and hypertension by atherosclerosis status: a cross-sectional study**  
 Sci Rep 2021; 11(1) : 13922  
 Shimizu Y, Kawashiri SY, Noguchi Y, Nagata Y, Maeda T, Hayashida N
  
11. **Dietary intake of tocopherols and risk of incident disabling dementia.**  
 Scientific Reports 2021 ; 11(1) : 16429  
 Aoki S, Yamagishi K, Maruyama K, Kishida R, Ikeda A, Umesawa M, Renzhe C, Kubota Y, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Muraki I, Imano H, Sankai T, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H.
  
12. **Associations Between Occupational Status, Support at Work, and Salivary Cortisol Levels.**  
 Int J Behav Med 2021 ; Online ahead of print  
 Hirokawa K, Ohira T, Nagao M, Nagayoshi M, Kajiura M, Imano H, Kitamura A, Kiyama M, Okada T, Iso H.
  
13. **Hemoglobin and adult height loss among Japanese workers: A retrospective study**  
 PLoS One 2021 ; 16(8) : e0256281  
 Shimizu Y, Hayakawa H, Takada M, Okada T, Kiyama M
  
14. **Association between height-related polymorphism rs17081935 and reduced handgrip strength in relation to status of atherosclerosis: a cross-sectional study**  
 Environ Health Prev Med 2021 ; 26(1) : 83  
 Shimizu Y, Kawashiri SY, Arima K, Noguchi Y, Yamanashi H, Nobusue K, Nonaka F, Nakamichi S, Nagata Y, Maeda T
  
15. **Synergistic Effect of History of Cardiovascular Disease and Mental Distress on Post-Traumatic Stress Disorder after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey**  
 Int J Environ Res Public Health 2021 ; 18(19) : 10283  
 Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Harigane M, Shimizu Y, Okada T, Kiyama M, Kamiya K
  
16. **Height and Mortality from Aortic Aneurysm and Dissection**  
 J Atheroscler Thromb 2021 ; Online ahead of print  
 Takada M, Yamagishi K, Tamakoshi A, Iso H; JACC Study Group.
  
17. **Association between thyroid-stimulating hormone (TSH) and proteinuria in relation to thyroid cyst in a euthyroid general population**  
 J Physiol Anthropol 2021 ; 40(1) : 15  
 Shimizu Y, Nabeshima-Kimura Y, Kawashiri SY, Noguchi Y, Minami S, Nagata Y, Maeda T, Hayashida N

18. Availability of the cardio-ankle vascular index (CAVI) in general health check-up  
Cardio-Ankle Vascular Index, Overview & Clinical Application 2021 : 295-297  
Shimizu Y
19. Overweight and Hypertension in Relation to Chronic Musculoskeletal Pain Among Community-Dwelling Adults: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)  
J Epidemiol 2021 ; 31(11) : 566-572  
Kakihana H, Jinnouchi H, Kitamura A, Matsudaira K, Kiyama M, Hayama-Terada M, Muraki I, Kubota Y, Yamagishi K, Okada T, Imano H, Iso H.
20. Prediction of Lifetime Risk of Cardiovascular Disease Deaths Stratified by Sex in the Japanese Population.  
J Am Heart Assoc 2021 ; 10(23) : e021753  
Imai Y, Mizuno Tanaka S, Satoh M, Hirata T, Murakami Y, Miura K, Waki T, Hirata A, Sairenchi T, Irie F, Sata M, Ninomiya T, Ohkubo T, Ishikawa S, Miyamoto Y, Ohnishi H, Saitoh S, Tamakoshi A, Yamada M, Kiyama M, Iso H, Sakata K, Nakagawa H, Okayama A, Ueshima H, Okamura T
21. Seaweed Intake and Risk of Cardiovascular Disease: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS).  
J Atheroscler Thromb 2021 ; 28(12):1298-1306  
Chichibu H, Yamagishi K, Kishida R, Maruyama K, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Muraki I, Umesawa M, Cui R, Imano H, Ohira T, Tanigawa T, Sankai T, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H.
22. Risk Classification for Metabolic Syndrome and the Incidence of Cardiovascular Disease in Japan With Low Prevalence of Obesity: A Pooled Analysis of 10 Prospective Cohort Studies.  
J Am Heart Assoc 2021 ; 10(23):e020760  
Iso H, Cui R, Takamoto I, Kiyama M, Saito I, Okamura T, Miyamoto Y, Higashiyama A, Kiyohara Y, Ninomiya T, Yamada M, Nakagawa H, Sakurai M, Shimabukuro M, Higa M, Shimamoto K, Saito S, Daimon M, Kayama T, Noda M, Ito S, Yokote K, Ito C, Nakao K, Yamauchi T, Kadowaki T
23. Subclinical hypothyroidism, thyroid-stimulating hormone, thyroid hormone, thyroid cyst  
Acta Med Nagasaki 2022 ; 65(2):57-62  
Ozasa S, Kawashiri SY, Noguchi Y, Nagata Y, Maeda T, Hayashida N, Shimizu Y
24. Normal anti-thyroid peroxidase (TPO-Ab) titers and active arterial wall thickening among euthyroid individuals: A prospective study  
J Clin Med 2022 ; 11(3) : 521  
Shimizu Y, Kawashiri SY, Noguchi Y, Nakamichi S, Nagata Y, Hayashida N, Maeda T
25. Brief Self-Exercise Education for Adults With Chronic Knee Pain: A Randomized Controlled Trial  
Mod Rheumatol 2022 ; Online ahead of print  
Jinnouchi H, Kitamura A, Matsudaira K, Kakihana H, Oka H, Yamagishi K, Kiyama M, Iso H
26. Dietary fiber intake and risk of incident disabling dementia: the Circulatory Risk in Communities Study  
Nutritional neuroscience 2022 ; Online ahead of print  
Yamagishi K, Maruyama K, Ikeda A, Nagao M, Noda H, Umesawa M, Hayama-Terada M, Muraki I, Okada C, Tanaka M, Kishida R, Kihara T, Ohira T, Imano H, Brunner EJ, Sankai T, Okada T, Tanigawa T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H

27. Effect of subclinical hypothyroidism on the association between hemoglobin A1c and reduced renal function: A prospective study  
Diagnostics (Basel) 2022 ;12(2):462  
Shimizu Y, Kawashiri SY, Noguchi Y, Nakamichi S, Nagata Y, Maeda T, Hayashida N
28. Associations among ratio of free triiodothyronine to free thyroxine, chronic kidney disease, and subclinical hypothyroidism  
J Clin Med 2022 ;11(5):1269  
Shimizu Y, Kawashiri SY, Noguchi Y, Nakamichi S, Nagata Y, Hayashida N, Maeda T
29. Impact of Major Cardiovascular Risk Factors on the Incidence of Cardiovascular Disease among Overweight and Non-Overweight Individuals: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)  
J Atheroscler Thromb 2022 ;29(3) : 422-437  
Matsumura T, Sankai T, Yamagishi K, Kubota Y, Hayama-Terada M, Muraki I, Umesawa M, Cui R, Imano H, Ohira T, Kitamura A, Okada T, Kiyama M, Iso H
30. Comment on "Dose body height affect vascular function ?"  
Hypertens Res 2022;2022: Online ahead of print  
Shimizu Y

## 7 受賞及び表彰

### 〈がん予防検診部門〉

1. 公益社団法人日本診療放射線技師会 会への発展・貢献に努めたため  
功労賞  
公益社団法人日本診療放射線技師会 ; 2022年 2月20日  
楠本美千代

### 〈循環器病予防部門〉

1. 大量機会飲酒を考慮した、飲酒と脳卒中との関連 : The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)  
優秀演題賞  
第80回公衆衛生学会総会 ; 2021年12月21日  
高田 碧, 山岸良匡, 清水悠路, 村木 功, 田中麻理, 羽山実奈, 梅澤光政, 今野弘規, 山海知子,  
岡田武夫, 北村明彦, 木山昌彦, 磯 博康
2. CD34陽性細胞の動脈硬化及び高血圧への関与に関する疫学研究  
奨励賞  
第92回日本衛生学会総会 ; 2022年3月22日  
清水悠路, 川尻真也, 山梨啓友, 木山昌彦, 林田直美, 永田康浩, 前田隆浩

## 8 大阪がん予防対策基金

当センターでは、がん予防に関する研究・研修・啓発の促進を目的に、各界各層からのご寄附・浄財により「大阪がん予防対策基金」を設けている。

令和3年度寄附金額は、顕微鏡購入代を含め3,965,850円で設立当初よりのご寄附額は累計で204,430,416円となっている。この基金による事業の一環として、がん予防対策基金研究助成金制度を設け、医療従事者等のがん関連の調査研究に対して助成を行っているが、3年度事業として3件の研究に助成を行った。

### (1) 大阪がん予防対策基金寄附状況

令和3年度対策基金寄附内訳

・10万円以上	2件	3,923,600円
・10万円未満	3件	42,000円
・マスク購入代	5件	250円
3年度寄附金合計		3,965,850円
設立当初よりの寄附金累計額		204,430,416円

### (2) 大阪がん予防対策基金研究助成

<受贈者> 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター  
放射線診断・IVR科品質管理グループ 代表：川真田 実

<研究内容> 二次発がん予防に向けたがん診療の放射線被ばく線量の実態調査

<受贈者> 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター  
がん対策センター 小山 史穂子

<研究内容> 口腔がん患者における飲酒習慣と10年生存率との関連

<受贈者> 大阪がん循環器病予防センター 消化管撮影班  
代表：蓮尾 智之

<研究内容> 胃X線がん検診におけるがん検出能の精度評価ー対策型検診撮影法と任意型検診撮影法ー

### (3) 大阪がん予防対策基金研究助成交付者一覧表

年度	交付者名（団体・代表者名）	研究課題
昭和62年度	大阪府医師会臨床検査センター	肺癌集団検診のための集細胞喀痰細胞診の開発
	大阪がん予防検診センター	がんの一次予防のための新しい健康教育システムの開発
	大阪がん予防検診センター 河島輝明	胃がんの進展速度に関する研究
昭和63年度	大東保健所 柳尚夫	がんを中心とした成人病の一次予防のための健康教育の地域での実践的研究

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
昭和63年度	八尾保健所 伊藤 裕 康	保健所におけるがん死亡データの活用方法の開発
	吹田市立保健センター	特定年齢(40歳・50歳)を対象とした総合健康診査の実施
	美原町健康推進室 石澤 靖子	美原町における包括的・効果的がん予防活動のあり方
	城東区医師会	医師会としての大腸がん集団検診への積極的取り組み
	藤井寺市医師会	集団検診における悪性腫瘍の発見及び頻度
	大阪市保健指導研究会	乳がん自己検診法の指導の評価
	がん予防研究会	肺がん予防のための禁煙教室の開催
	大阪がん予防検診センター 検査部	細胞診による子宮体癌検診のための新しい内膜細胞採取器具の開発
	大阪がん予防検診センター 内視鏡検診部 岡野 彌 高	胃がん検診における内視鏡第1次精検の新しい試み
平成1年度	枚方保健所	生活習慣における発がんのリスクファクターについて
	大阪府母子保健総合医療センター	乳児神経芽腫スクリーニングにおける要精検カットオフ値の検討と設定
	門真市役所	乳がん検診における自己検診法の普及について
	箕面市医療保健センター	箕面市における各種がん検診評価に関する研究
	近畿大学医学部 第一外科	乳癌集団検診でのマンモグラフィと超音波の有用性の比較検討
	大阪市環境保健局保健部 保健管理課	胃部X線集団検診における方向表示器の活用について
	大阪市環境保健局 健康指導課	超音波検診による乳がん集団検診について
	大阪がん予防検診センター 検診第2部	子宮体癌診断精度向上に関する研究
	大阪がん予防検診センター 看護婦グループ	胃がん検診要精検者に対する内視鏡のオリエンテーションVTR作成とその活用効果について
	大阪がん予防検診センター 診療放射線グループ	レントゲン検診部門管理システムのネットワーク化について
平成2年度	柏原中小企業健康問題研究会	中小企業における禁煙、肥満教育
	寝屋川保健所 堀毛 輝江	禁煙・飲酒に関する地域健康教育ネットワークシステムの研究 —酒害対策の発展を踏まえて—
	東大阪市保健衛生部	乳がん予防のための健康教育のあり方
	寝屋川市学校保健教育研究会	寝屋川市における小中学生の喫煙状況の実態調査と喫煙防止の指導のあり方の研究
	大阪市住之江区医師会	住之江区における大腸がん集団検診

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成2年度	岸和田徳州会病院 消化器内科	大腸癌の早期発見及び内視鏡的治療
	大阪市保健衛生検査所	集団検診による神経芽細胞腫の特性と疫学的事項に関する研究
	大阪がん予防検診センター 三木 信 夫	消化器総合検診(胃・大腸同時集検)の検討
	大阪がん予防検診センター 宮本真由美	集検発見胃癌患者の予後の分析
	大阪がん予防検診センター 田路英作	子宮頸部上皮細胞のHPV(Human Papilloma Virus)感染様式の検討とその臨床応用に関する研究
	大阪がん予防検診センター 布引 治	子宮体癌スクリーニングに適した新しい標本作製方法の試み
平成3年度	古妻クリニック 古妻 嘉一	関西新空港による生活環境の変化に基づく乳がんの一次予防に関する研究
	近畿大学医学部 光林 茂	ポリメラーゼ $\alpha$ による膀胱腫瘍増殖能の検討
	大阪府立公衆衛生研究所 中村 清一	環境変異原を不活性化する生体成分について
	大阪府立公衆衛生研究所 原 嘉宏	子宮頸癌の危険因子に関する研究
	大阪市交通局 健康管理室	がん検診による早期発見の可能性と限界について
	大阪市保健指導研究会	子宮がん(頸部)検診でがんと診断された者の受診態様からみた検診の有り方について
	大阪がん予防検診センター 綿谷正弘	乳癌一次検診へのマンモグラフィの導入—肥満女性に対するマンモグラフィの検討から—
	大阪がん予防検診センター 山本倫子	HPV感染の指標となる細胞診パターンの確認
	大阪がん予防検診センター 検査部	Papanicolaou 染色標本における細胞移動の試み
	大阪がん予防検診センター 桑野忠雄	胃集検におけるX線照射線量低減のための体側フィルタの製作
	大阪がん予防検診センター 安達正子	乳房自己検診法(BSE)指導方法についての検討
	大阪がん予防検診センター 横溝美穂	妊婦とその家族を対象とした禁煙指導の有効性評価に関する研究
	平成4年度	大阪中央病院産婦人科 前田隆義
泉佐野保健所		受動喫煙の灰中ニコチンによる定量的評価と禁煙・分煙
八尾保健所		胸部間接撮影における描出能と有用性の検討
岸和田保健所		トータルヘルスをめざした健康教育の有効に関する研究—保健所を中心にして—
大阪市保健衛生検査所		乳癌集団検診で使用している水浸式超音波診断装置(オクトソン方式)の撮影条件の検討
大阪がん予防検診センター 検診第2部		新しい自己細胞採取器具(マイハップ)による子宮頸部細胞診臨床試験

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成4年度	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸部ヒト乳頭腫ウイルス感染症の Follow up について
	大阪がん予防検診センター 山本兼右	当センターにおけるパソコン利用の一考察—がん患者画像データベース—
	大阪がん予防検診センター 大森美恵子	大腸がん精密検査における不安及び緊張の緩和に関する研究
	大阪がん予防検診センター 遠藤幸子	がん検診情報システムの更新にあたっての取り組み
平成5年度	北摂病院 御前治	妊婦における細胞診の必要性とその要精検妊婦の管理
	吹田市医師会がん検診部会	乳がん個別検診のデータ解析による成績評価と今後の展望
	堺市宿院保健所 淵 勲	がん予防・健康講座の実践
	池田保健所	地域・職域における効果的な禁煙指導法の開発・普及のための研究
	吹田保健所	大腸がん検診における精密検査実施状況及び実施体制の実態調査
	大阪がん予防検診センター 検診第2部	細胞診における新しい判定方法“ベセスダシステム”についての研究
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸がん検診精度管理に関する研究(細胞診誤陰性例のチェック方法とその再検討)
	大阪がん予防検診センター 中川智美	便潜血検査判定による大腸がん検診の精度
	大阪がん予防検診センター 矢竹秀稔	胃集検用硫酸バリウム製剤(145W/V ゾル)の総合的評価についての研究
	大阪がん予防検診センター 田端和代	子宮がん精密検査受診率向上についての検討
平成6年度	堺市医師会呼吸器疾患談話会	F C R を用いた肺癌早期発見の研究
	旭区医師会肝癌検診グループ	効率の良い肝癌検診の確立： ハイリスクグループの設定と適切な検診間隔
	泉佐野市保健センター	泉佐野市における胃がん検診—計画検診の3年間のまとめ—
	八尾保健所	肺がんの発生と呼吸器疾患既往歴との関連
	大阪市環境保健協会	発見大腸がん患者等についての研究
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸部における接着分子(カドヘリン)の発現と組織—細胞所見
	大阪がん予防検診センター 牧本和代	大腸がん検診における精検方法の改良に関する研究—主として前処置について—
平成7年度	石切生喜病院 山片重房	乳がん・子宮がん複合検診の効用と効果
	旭区医師会肝癌検診グループ	効率の良い肝癌検診の確立： ハイリスクグループの設定と適切な検診間隔
	豊中保健所 森定一稔	豊中市におけるがん死亡の地域特性について

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成7年度	熊取町大腸がん検診研究グループ	健康教室・住民説明会を併用した大腸がん検診の精度
	胃集団検診研究会	胃集検用高濃度バリウムの有用性について
平成8年度	旭区医師会肝臓検診グループ	効率の良い肝臓検診の確立
	大阪がん予防検診センター 濱田紘一郎	子宮頸部腺系初期癌および前癌病変の早期診断・治療・管理に関する研究
	大阪がん予防検診センター 前田喜徳	がんに関する検診の調査研究
平成9年度	禁煙サポートグループ	成人病専門施設で働く看護婦の禁煙指導の現状と課題
	本多正治	免疫学的便潜血検査法によって発見された大腸癌の解析と効果的な検診方法の検討
	大阪市婦人科腫瘍研究グループ	頸部擦過細胞診を用いた PCR 法による HPV - DNA 検出法とタイピング法の有用性の検討
平成10年度	谷口定之	子宮頸がん検診に関する臨床的研究
	府立羽曳野病院 第2内科	小細胞肺癌患者の長期生存例における第2癌の発生ならびに晩発性再発についての因子解析
平成11年度	旭区医師会肝臓検診グループ	「効率の良い肝臓検診の確立」肝臓早期発見のため検診対象者の設定、検診方法、検診間隔の設定
	肝疾患対策研究グループ	地域における肝がん予防対策推進に関する研究
平成12年度	関西労働保険協会	腹部(肝臓, 胆嚢, 膵臓, 腎臓)超音波検診の精度
	府立羽曳野病院 外科	喫煙係数からみた肺癌手術予後
平成13年度	大阪鉄道病院 保健管理部消化器科	職員検診を活用した肝細胞癌の予防・早期発見システムの構築
平成15年度	大阪がん予防検診センター 岡野彌高	検診機関におけるヘリコバクターピロリ菌陽性潰瘍例の除菌療法の評価と追跡調査の検討
	大阪府立成人病センター 福島良志幸	
平成16年度	枚方市立枚方市民病院 外科	乳癌の早期発見(マンモグラフィの有用性の検討)
平成17年度	堺市医師会乳がん検診	マンモグラフィ併用乳がん検診の有用性について
	胃がん検診用バリウム製剤研究グループ 山本兼右	胃がん集団検診における高濃度低粘性硫酸バリウム粉末製剤のmA s 値の評価
平成18年度	枚方市妊産婦への禁煙支援グループ	妊婦禁煙と出産後の禁煙継続のための支援プログラム
	貝塚市健康づくり推進委員会	各校区毎の健康教室の開催や、大腸がん検診のスティック配布によりがん予防に対する知識を地域に広め、がん検診受診率の向上に寄与する

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成18年度	大阪がん予防検診センター 婦人科検診部 植田政嗣	婦人科癌における遺伝子多型解析
平成19年度	大阪がん予防検診センター 乳腺検診部 森田眞照	乳癌マンモグラフィ検診の普及と精度向上を目指して
	大阪がん予防検診センター 臨床検査室 田路英作	HPV検査(HC-2)法におけるハイリスク陽性症例の子宮頸部細胞診所見
平成20年度	大東市 健康いきがい課 足立安正	肺がん検診が禁煙指導に及ぼす影響
	胃がん検診用バリウム製剤研究グループ 山本兼右	胃がん検診における高濃度と中濃度硫酸バリウム製剤のX線被曝線量評価に関する研究
平成22年度	大阪府四条畷保健所 企画調整課 山口和子	未成年者に対する喫煙防止教育の充実
	府中病院 消化器内科 廣岡大司	泉州地域における大腸がん検診の受診率・精検受診率の向上に向けた活動
	大阪がん予防検診センター 乳がん検診看護チーム 浅井恵美子	大阪府の乳がん検診受診率の向上を目指した、地域ボランティアシステムの構築
平成23年度	泉大津市立保健センター 鈴木友子	子育て世代に対する子宮がん予防の効果的な啓発について
	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 田淵貴大	医療保険等の社会的背景に基づくがん検診受診率格差の実証的研究
	市立貝塚病院 乳がん高度検診・治療センター 山口美保子	外来看護師の積極的介入による若年者への乳がんの検診受診の啓発
平成24年度	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 伊藤ゆり	大阪府における市町村がん検診の検診精度管理指標に関する分析
	生長会府中大腸がん検診研究会 廣岡大司	泉州地域における大腸がん検診の普及に向けた住民講座などの啓発活動
平成25年度	田附興風会医学研究所北野病院 八隅秀二郎	地域ぐるみの連携システムの構築
	PANDRA PROJECT 井岡達也	膀胱癌早期診断を目指した適正な検診間隔を検討するための研究
	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 井岡亜希子	神経芽細胞腫マスキング中止による影響評価に関する研究
平成26年度	医療法人橘会東住吉森本病院 地域医療連携センター 地域がん対策チーム 田中宏	院内がん登録を基礎とした当地区における癌の特徴分析と効果的な予防啓発活動に関する研究
	上部下部消化管症例検討撮影研究会 山本兼右	注腸X線検査における受診者の被ばく線量(実効線量)の算出と生涯がん死亡リスクの推定
	大阪がん循環器病予防センター 婦人科検診部 植田政嗣	ベセスダシステム異型腺細胞の臨床病理学的背景ならびにHPV感染に関する研究

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成27年度	和泉市医師会「胃がんリスク検査」研究会 廣岡大司	H. pylori 血清抗体(以下HP抗体)とPG検査で行う「胃がんリスク検査」の確立, 胃がん予防, 診断, その成果・問題点についての検討
	森島敏隆 (大阪府立成人病センターがん予防情報センター)	喫煙習慣が肺がん患者の生存期間に及ぼす影響
平成28年度	上部下部消化管症例検討撮影研究会 山本兼右	胃がんX線検診における受診者の被ばく線量の算出 －Flat Panel Detector (FPD) デジタル撮影－
平成29年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 佐藤 亮	がんサバイバーに対するがん検診の意義に関する研究
	ダイハツ保健センター	職域における疾病早期発見対策として導入した甲状腺エコー検査の実績と、その評価
平成30年度	市立豊中病院 消化器外科 富丸慶人	十二指腸乳頭癌における他臓器重複癌の調査および十二指腸乳頭癌早期発見プロジェクトの開発
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 中村ハルミ	病理医だけが知っている肺癌と喫煙の関係
令和1年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 中村ハルミ	喫煙 DNA メチル化異常を介した肺がん発生の免疫組織学的研究
	大阪がん循環器病予防センター 看護室 受診支援グループ 代表：浅井恵美子	がん検診の受診支援につながる情報提供とその評価
令和2年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター肝胆膵内科膵検査室 池澤賢治	膵がんの早期発見向上を目指した新規膵検診プランの有効性
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 血液内科 藤 重夫	大阪府における HTLV1 感染の実態把握の為の調査研究
	大阪がん循環器病予防センター 婦人科細胞診断部 代表：呉 美優貴	閉経後の要精検者に対する p16 免疫組織化学染色の有効性
令和3年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR 科品質管理グループ 代表：川真田 実	二次発がん予防に向けたがん診療の放射線被ばく線量の実態調査
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター がん対策センター 小山史穂子	口腔がん患者における飲酒習慣と10年生存率との関連
	大阪がん循環器病予防センター 消化管撮影班 代表：蓮尾 智之	胃 X 線がん検診におけるがん検出能の精度評価－対策型検診撮影法と任意型検診撮影法－



# 資 料 編



## **Ⅶ がん検診結果集計資料**

1-1(1) 胃がん検診実績表 (施設検診・車検診号車別)

対象検診期間： 令和3年04月01日～令和4年03月31日

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
1号	検診数 108	470	416	547	271	622	674	646	441	170	519	582	5,466
	検診回数 4	16	14	18	8	15	18	17	12	5	16	17	160
2号	検診数 114	454	470	451	240	502	712	697	416	207	158	35	4,456
	検診回数 4	15	17	14	7	15	20	20	12	6	5	1	136
8号	検診数 89	500	702	399	213	543	622	574	484	232	344	238	4,940
	検診回数 3	15	21	13	6	17	18	16	13	6	10	7	145
12号	検診数 66	336	507	381	305	398	546	587	441	377	537	463	4,944
	検診回数 2	13	19	14	8	13	18	17	12	12	16	15	159
車合計	検診数 377	1,760	2,095	1,778	1,029	2,065	2,554	2,504	1,782	986	1,558	1,318	19,806
	検診回数 13	59	71	59	29	60	74	70	49	29	47	40	600
施設計	検診数 421	563	886	843	803	1,004	1,099	965	769	471	572	801	9,197
	検診回数 21	18	22	20	21	20	21	20	19	18	18	22	240
総合計	検診数 798	2,323	2,981	2,621	1,832	3,069	3,653	3,469	2,551	1,457	2,130	2,119	29,003
	検診回数 34	77	93	79	50	80	95	90	68	47	65	62	840

# 1- (2) 胃がん検診結果集計表

対象期間： 令和3年04月01日～令和4年03月31日

X線	受診数	要精検率 (%)		精検受診率 (%)	精検結果				がん症例の治療			39才以下の割合	初回の割合					
		要精検	要精検		胃がん	(うち早期)	良性隆起	潰瘍	潰瘍癒痕	その他	異常なし			治療切除	非治療切除	その他	不明	
地域合計	20034	1310	6.5	1138	86.9	22	18	161	28	53	812	62	17	1	0	4	1.0	20.8
(27市町村)	6410	209	3.3	172	82.3	2	1	15	2	0	137	16	2	0	0	0	17.1	18.6
職域合計	128	3	2.3	2	66.7	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	19.5	21.1
検診友の会等合計	26572	1522	5.7	1312	86.2	24	19	176	30	53	950	79	19	1	0	4	5.0	20.3
X線合計	1198	324	27.0	282	87.0	22	17	136	25	44	745	61	17	1	0	4	3.1	31.1
(1度目の読影で要精検)						2	2	40	5	9	205	18	2	0	0	0	3.7	23.8
(2度目の読影で要精検)																		

内視鏡	受診数	要精検率 (%)		精検受診率 (%)	精検結果				がん症例の治療			39才以下の割合	初回の割合					
		要精検	要精検		胃がん	(うち早期)	良性隆起	潰瘍	潰瘍癒痕	その他	異常なし			治療切除	非治療切除	その他	不明	
内視鏡合計	2431	134	5.5	132	98.5	1	1	13	4	1	112	1	1	0	0	0	6.3	21.4
総合計	29003	1656	5.7	1444	87.2	25	20	189	34	54	1062	80	20	1	0	4	5.1	20.4

1- (3) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [地域]

対象検診期間: 令和3年04月01日～令和4年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 受診数	精検受診率 (%)	胃がん		精検結果		異常なし	
										率(%)	うち早期がん	率(%)	良性隆起		潰瘍
【男】															
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0
30～34	19	0.2	13	5	1	1	5.3	1	100.0	0	0.00	0	0	1	0
35～39	40	0.5	33	2	5	2	5.0	1	50.0	0	0.00	0	0	1	0
40～44	439	5.4	272	115	52	30	6.8	24	80.0	0	0.00	1	0	22	1
45～49	577	7.1	192	217	168	38	6.6	33	86.8	0	0.00	4	1	27	1
50～54	687	8.5	163	295	229	57	8.3	41	71.9	0	0.00	2	1	35	3
55～59	666	8.2	164	295	207	61	9.2	47	77.0	1	0.15	3	1	38	4
60～64	886	11.0	287	344	255	73	8.2	62	84.9	2	0.11	9	1	46	4
65～69	1624	20.1	412	738	474	169	10.4	146	86.4	7	0.37	22	1	109	7
70～74	1739	21.5	180	1041	518	149	8.6	130	87.2	4	0.17	20	5	92	9
75～79	856	10.6	57	525	274	61	7.1	54	88.5	1	0.00	7	1	44	1
80～84	415	5.1	22	273	120	32	7.7	26	81.3	2	0.48	6	0	16	2
85～	136	1.7	3	81	52	10	7.4	10	100.0	0	0.00	3	1	5	1
計	8084	100.0	1798	3931	2355	683	8.4	575	84.2	17	0.21	77	12	436	33
【女】															
～29	1	0.0	1	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0
30～34	29	0.2	24	1	4	2	6.9	2	100.0	0	0.00	0	0	2	0
35～39	110	0.9	80	9	21	9	8.2	9	100.0	0	0.00	1	0	8	0
40～44	1100	8.8	634	226	240	46	4.2	42	91.3	0	0.00	6	1	34	1
45～49	1448	11.6	378	491	579	89	6.1	82	92.1	0	0.00	13	2	63	4
50～54	1545	12.4	332	564	649	58	3.8	50	86.2	0	0.00	7	2	40	1
55～59	1424	11.4	253	616	555	79	5.5	72	91.1	2	0.14	11	1	53	5
60～64	1576	12.6	307	654	615	86	5.5	75	87.2	0	0.00	7	1	62	5
65～69	1923	15.4	288	917	718	126	6.6	119	94.4	2	0.10	21	4	88	4
70～74	2092	16.7	164	1071	857	128	6.1	114	89.1	1	0.00	13	2	92	6
75～79	860	6.9	50	474	336	42	4.9	38	90.5	1	0.05	9	2	23	3
80～84	332	2.7	14	175	143	9	2.7	7	77.8	0	0.12	2	0	5	0
85～	66	0.5	4	33	29	2	3.0	2	100.0	0	0.00	0	1	1	0
計	12506	100.0	2529	5231	4746	676	5.4	612	90.5	6	0.05	90	16	471	29







1- (7) 胃がん精検機関別精検受診数 (令和3年度)

	精 検 機 関				総 計
	大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関			
地 域	X線受診	0	1		1
	内視鏡受診	152	1,031		1,183
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	152 ( 12.8 )	1,032 ( 87.2 )		1,184 ( 100.0 )
職 域	X線受診	0	1		1
	内視鏡受診	137	104		241
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	137 ( 56.6 )	105 ( 43.4 )		242 ( 100.0 )
検診友の会等	X線受診	0	0		0
	内視鏡受診	3	4		7
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	3 ( 42.9 )	4 ( 57.1 )		7 ( 100.0 )
合 計	X線受診	0	2		2
	内視鏡受診	292	1,139		1,431
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	292 ( 20.4 )	1,141 ( 79.6 )		1,433 ( 100.0 )

1- (8) 市町村別胃がん検診精密検査機関 (令和3年度)

市町村名	要精検数	精検受診数 (率)	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
豊能町	32	30 ( 93.8 )	2	25	0	0	3
能勢町	24	20 ( 83.3 )	2	8	1	0	9
吹田市	74	60 ( 81.1 )	1	11	19	6	23
摂津市(車)	5	4 ( 80.0 )	0	0	2	0	2
茨木市	10	10 ( 100.0 )	0	0	5	0	5
門真市	13	11 ( 84.6 )	5	1	1	0	4
四條畷市	5	4 ( 80.0 )	1	0	2	0	1
大東市	1	1 ( 100.0 )	0	0	1	0	0
八尾市	181	164 ( 90.6 )	26	7	15	2	114
八尾市(施設)	5	5 ( 100.0 )	2	1	1	0	1
柏原市	64	57 ( 89.1 )	7	21	2	2	25
柏原市(施設)	8	7 ( 87.5 )	3	0	0	0	4
松原市	125	90 ( 72.0 )	13	0	32	7	38
羽曳野市	128	125 ( 97.7 )	6	13	36	30	40
羽曳野市(施設)	1	1 ( 100.0 )	0	0	0	0	1
藤井寺市	103	85 ( 82.5 )	3	28	6	36	12
藤井寺市(施設)	4	4 ( 100.0 )	1	1	0	1	1
富田林市	86	78 ( 90.7 )	0	4	54	4	16
太子町	23	17 ( 73.9 )	2	3	8	4	0
千早赤阪村	12	12 ( 100.0 )	0	6	6	0	0
河内長野市	36	35 ( 97.2 )	2	16	5	0	12
和泉市	31	24 ( 77.4 )	0	13	6	0	5
泉大津市	85	75 ( 88.2 )	4	33	4	8	26
高石市	34	26 ( 76.5 )	3	1	5	9	8
忠岡町	8	5 ( 62.5 )	0	2	3	0	0
貝塚市	52	46 ( 88.5 )	0	22	6	1	17
熊取町	51	50 ( 98.0 )	4	20	7	2	17
泉南市	59	49 ( 83.1 )	4	8	21	7	9
岬町	12	11 ( 91.7 )	0	3	8	0	0
大阪府	60	57 ( 95.0 )	49	1	1	0	6
大阪府国保(ドック)	3	2 ( 66.7 )	0	1	0	0	1
大阪府国保(無料ドック)	9	8 ( 88.9 )	6	0	0	2	0
大阪府国保(特定ドック)	15	14 ( 93.3 )	9	0	2	2	1
合計	1,359	1,187 ( 87.3 )	155	249	259	123	401

(註) 公的病院に大学附属病院を含む

## 2- (1) 子宮がん検診結果集計表

対象検診期間： 令和3年04月01日～令和4年03月31日

	頭部受診数		要精検率		精検受診率		頭がん 体がん	精検結果		がん症例の治療				39才以下 の割合			
	頭部受診数	体部受診数	要精検 (%)	精検 (%)	精検受診 (%)	精検率 (%)		うち微小浸癌)	AIS・CIN3 異型増殖	CIN2・CIN1 複・単増殖	その他 異常なし	微小浸潤癌 手術	非手術		浸潤癌 治癒切除	非治癒切除	結果不明
地域合計 (26市町村)	10707	83	164	1.5	152	92.7	2	0	26 (26)	52 (6)	62	10	0	2	0	0	16.6
職域合計 (114団体)	4437	52	93	2.1	89	95.7	0	0	4 (4)	40 (2)	38	7	0	0	0	0	2.4
検診友の会等 合計	589	45	12	2.0	12	100.0	0	0	0	2	7	3	0	0	0	0	3.8
総計	15733	180	269	1.7	253	94.1	2	0	30 (30)	94 (8)	107	20	0	2	0	0	20.4
			8	4.4	8	100.0	0	0	1	2	3	2	0	0	0	0	2.2

註：( )内は、前がん病変で治療を受けたものを再掲。

2- (2) 子宮がん検診結果集計表 (年齢階級別)

対象検診期間： 令和3年04月01日～令和4年03月31日

年齢階級 〔頸部〕	判定										要精検			精検			精検結果								
	受診数	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL (軽度)	LSIL (中度)	LSIL (高度)	LSIL (上皮)	SCC	AGC	AIS	Adeno carci	Other	判定 不能	要精検	精検率 (%)	精検 受診数	精検 受診率 (%)	頸癌	うち微小浸 潤癌	CIN3	CIN2・CIN1	その他	異常 なし	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
20～24	345	327	5	0	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	18	5.2	17	94.4	0	0	0	0	0	0	0
25～29	590	566	6	1	12	3	2	0	0	0	0	0	0	0	24	4.1	22	91.7	0	0	5(5)	0	(1)	6	1
30～34	1112	1081	12	2	10	4	2	0	0	0	0	0	0	0	31	2.8	26	83.9	0	0	4(4)	9	(1)	7	0
35～39	1166	1135	13	2	12	2	1	1	0	0	0	0	0	0	31	2.7	30	96.8	0	0	1(1)	13	(2)	8	5
40～44	1623	1589	16	2	9	2	1	2	0	0	0	0	0	0	34	2.1	33	97.1	0	0	6(6)	16	(2)	14	2
45～49	1872	1832	18	3	10	1	4	1	0	3	0	0	0	0	40	2.1	39	97.5	1	0	5(5)	18	(2)	10	2
50～54	2097	2066	17	2	9	0	0	0	0	3	0	0	0	0	31	1.5	31	100.0	0	0	1(1)	7	(2)	12	3
55～59	1653	1636	12	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1.0	16	94.1	0	0	0	3	(2)	9	4
60～64	1602	1587	7	2	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	15	0.9	14	93.3	1	0	4(4)	2	(2)	6	1
65～69	1417	1406	5	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	11	0.8	10	90.9	0	0	3(3)	1	(1)	4	2
70～74	1445	1436	6	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	9	0.6	8	88.9	0	0	0	3	(1)	5	0
75～79	591	586	2	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	5	0.8	4	80.0	0	0	1(1)	0	(1)	3	0
80～84	182	179	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.6	3	100.0	0	0	0	2	(1)	1	0
85～	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	(1)	0	0
計	15733	15464	121	19	79	17	13	5	0	15	0	0	0	0	269	1.7	253	94.1	2	0	30(30)	94	(8)	107	20

年齢階級 〔体部〕	判定			要精検			精検			精検結果				
	受診数	陰性	疑陽性	陽性	判定 不能	要精検	精検率 (%)	精検 受診数	精検 受診率 (%)	体癌	異型 増殖	複雑型 増殖	単純型 増殖	その他
～19	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
20～24	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
25～29	1	1	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
30～34	1	1	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
35～39	2	2	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
40～44	15	14	1	0	0	1	6.7	1	100.0	0	0	0	0	1
45～49	19	18	0	0	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
50～54	48	45	2	0	1	2	4.2	2	100.0	0	0	0	1	1
55～59	39	36	3	0	0	3	7.7	3	100.0	0	0	0	1	2
60～64	25	25	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
65～69	16	14	1	0	1	1	6.3	1	100.0	0	0	0	0	1
70～74	9	8	1	0	0	1	11.1	1	100.0	0	0	0	0	0
75～79	4	4	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
80～84	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
85～	1	1	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
計	180	169	8	0	3	8	4.4	8	100.0	0	1	0	2	5

註) ( )内は前がん病変で治療を受けたものを再掲示

2- (3) 子宮がん精検機関別精検受診数 (令和3年度)

	精 検 機 関			
	大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関	総	計
地 域	頸部	71 ( 47.3 )	79 ( 52.7 )	150 ( 100.0 )
	体部	5 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	5 ( 100.0 )
職 域	頸部	66 ( 75.0 )	22 ( 25.0 )	88 ( 100.0 )
	体部	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 100.0 )
検 診 友 の 会 等	頸部	11 ( 91.7 )	1 ( 8.3 )	12 ( 100.0 )
	体部	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 100.0 )
合 計	頸部	148 ( 59.2 )	102 ( 40.8 )	250 ( 100.0 )
	体部	8 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	8 ( 100.0 )

2- (4) 市町村別子宮がん検診精密検査機関 (令和3年度)

市町村名	要精検数	精検受診数	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
能勢町	9 (0)	9 (0)	0 (0)	7 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
摂津市 (車)	21 (0)	20 (0)	13 (0)	0 (0)	6 (0)	0 (0)	1 (0)
島本町	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
門真市	5 (0)	5 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四條畷市	7 (0)	6 (0)	5 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
大東市	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
八尾市	27 (0)	24 (0)	6 (0)	8 (0)	3 (0)	7 (0)	0 (0)
八尾市 (施設)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
柏原市	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
柏原市 (施設)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
松原市	7 (0)	7 (0)	6 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
羽曳野市	7 (0)	7 (0)	0 (0)	4 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)
羽曳野市 (施設)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大阪狭山市	7 (0)	7 (0)	1 (0)	4 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
富田林市	7 (0)	7 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	1 (0)
太子町	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
河内南町	4 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
千早赤阪村	3 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
河内長野市	3 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
泉大津市	5 (0)	4 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
貝塚市	4 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
熊取町	4 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
泉南市	4 (0)	4 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
岬町	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
堺市	3 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大阪	24 (5)	24 (5)	22 (5)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
合計	164 (5)	152 (5)	71 (5)	38 (0)	21 (0)	18 (0)	4 (0)

註) 公的病院に大学附属病院を含む

註) ( ) 内は体部

### 3-1 (1) 乳がん検診結果集計表

対象検診期間： 令和3年04月01日～令和4年03月31日

	受診数	要精検	要精検率 (%)	精検受診	精検受診率 (%)	精検結果			がん症例の治療		39才以下の割合	初回の割合				
						乳がん(うち早期がん)	線維腺腫	乳腺症	その他	異常なし			治癒切除	非治癒切除	結果不明	
地域合計 (28市町村)	14963	774	5.2	708	91.5	66	42	40	61	406	135	62	1	3	1.8	28.5
職域合計 (116団体)	3821	164	4.3	159	97.0	10	6	6	15	84	44	6	0	4	16.3	25.0
検診友の会等合計	1035	29	2.8	28	96.6	3	3	0	3	21	1	3	0	0	11.6	11.7
総合計	19819	967	4.9	895	92.6	79	51	46	79	511	180	71	1	7	5.1	27.0

3- (2) 乳がん検診結果集計表 (年齢階級別)

対象検診期間： 令和3年04月01日～令和4年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (%)	うち 初回	要精検数	要精検率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検 結 果						
								乳がん (%)	うち早期がん	線維腺腫	乳腺症	その他	異常なし	
～29	198	1.0	106	7	3.5	7	100.0	0	0.00	0	1	2	4	0
30～34	330	1.7	151	8	2.4	8	100.0	0	0.00	0	1	2	4	1
35～39	483	2.4	186	8	1.7	7	87.5	0	0.00	0	2	1	2	2
40～44	2311	11.7	1365	174	7.5	156	89.7	2	0.22	2	13	17	91	30
45～49	2796	14.1	814	180	6.4	168	93.3	8	0.36	8	9	21	103	25
50～54	3082	15.6	796	156	5.1	146	93.6	8	0.29	8	8	9	93	27
55～59	2555	12.9	586	142	5.6	131	92.3	5	0.39	5	4	9	80	28
60～64	2365	11.9	496	95	4.0	90	94.7	3	0.34	3	0	5	50	27
65～69	2116	10.7	383	74	3.5	70	94.6	8	0.57	8	4	3	34	17
70～74	2249	11.3	307	79	3.5	72	91.1	9	0.62	9	2	5	34	17
75～79	951	4.8	105	34	3.6	30	88.2	7	0.84	7	1	4	13	4
80～84	319	1.6	42	10	3.1	10	100.0	1	0.94	1	1	1	3	2
85～	64	0.3	9	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
合計	19819	100.0	5346	967	4.9	895	92.6	51	0.40	46	79	511	180	

3- (3) 乳がん精検機関別精検受診数 (令和3年度)

	精 検 機 関			総 計
	大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関		
地 域	322 ( 45.4 )	387 ( 54.6 )		709 ( 100.0 )
職 域	109 ( 68.6 )	50 ( 31.4 )		159 ( 100.0 )
検診女の会等	28 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )		28 ( 100.0 )
合 計	459 ( 51.2 )	437 ( 48.8 )		896 ( 100.0 )

3- (4) 市町村別乳がん検診精密検査機関 (令和3年度)

市町村名	要精検数	精検受診数	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
池田市	56	51 ( 91.1)	6	39	4	0	2
能勢町	21	20 ( 95.2)	2	18	0	0	0
摂津市 ( 車 )	44	42 ( 95.5)	27	4	9	0	2
摂津市 ( 施設 )	1	1 ( 100.0)	1	0	0	0	0
島本町	16	16 ( 100.0)	7	0	2	0	7
門真市	30	28 ( 93.3)	25	2	0	0	1
四條畷市	6	6 ( 100.0)	5	0	1	0	0
大東市	7	7 ( 100.0)	7	0	0	0	0
八尾市 ( 施設 )	14	14 ( 100.0)	14	0	0	0	0
柏原市	32	32 ( 100.0)	17	8	1	0	6
柏原市 ( 施設 )	11	11 ( 100.0)	11	0	0	0	0
松原市	28	23 ( 82.1)	14	0	7	0	2
羽曳野市	42	41 ( 97.6)	7	24	8	0	2
羽曳野市 ( 施設 )	4	4 ( 100.0)	4	0	0	0	0
藤井寺市	41	37 ( 90.2)	12	13	6	0	6
藤井寺市 ( 施設 )	5	5 ( 100.0)	3	1	1	0	0
大坂狭山市	45	42 ( 93.3)	6	25	11	0	0
富田林市	16	16 ( 100.0)	1	0	10	0	5
太子町	11	10 ( 90.9)	1	0	4	0	5
千早赤阪村	7	7 ( 100.0)	0	4	2	0	1
河内長野市	40	37 ( 92.5)	9	22	4	0	2
泉大津市	47	45 ( 95.7)	8	5	1	22	9
忠岡町	4	3 ( 75.0)	0	0	0	2	1
熊取町	41	40 ( 97.6)	6	27	3	2	2
泉南市	24	23 ( 95.8)	3	19	0	0	1
岬町	16	15 ( 93.8)	0	6	8	0	1
堺市	46	16 ( 34.8)	11	1	4	0	0
東大阪市	6	6 ( 100.0)	6	0	0	0	0
大阪府	113	110 ( 97.3)	108	0	0	0	2
合計	774	708 ( 91.5)	321	218	86	26	57

註) 公的病院に大学附属病院を含む

### 4-1 (1) 肺がん検診結果集計表

令和3年04月01日～令和4年03月31日

対象検診期間：

地域 (22市町)	受診数	X線 受診数	CT 受診数	喀痰提 出者数	要精検	要精検 (%)	精検受診	精検受診率 (%)	がん症例の治療				
									肺がん	治癒切除	非治癒切除	非切除	結果不明
	15280	15267	93	459	398	2.6	382	96.0	7	6	0	0	1
職域合計 (121団体)	9963	9612	845	106	207	2.1	182	87.9	4	2	1	0	0
検診友の会等 合計	688	394	297	18	34	4.9	23	67.6	1	1	0	0	0
総合計	25931	25273	1235	583	639	2.5	587	91.9	12	9	1	0	1

註) 本表には、労働衛生安全法に基づく定期健康診断、人間ドック等による胸部X線検査の受診者数 (10,760) の結果を含む



4- (3) 肺がん検診 (直接X線) 結果集計表 (性・年齢階級別)

対象検診期間： 令和3年04月01日～令和4年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	X線のみ	X線 喀痰	受診歴 初回	1年前	X線判定区分*					要精検率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)	精検結果					
							A	B	C	D	E				肺がん	異常なし	転移性肺腫瘍	その他		
【男】																				
～29	3	0.1	3	0	1	1	0	3	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
30～34	6	0.1	6	0	5	1	0	6	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
35～39	54	1.0	54	0	17	37	0	52	1	0	1	1.9	1	100.0	0	0	0	0	1	
40～44	373	6.9	373	0	200	137	0	316	42	4	11	2.9	7	63.6	0	3	0	0	4	
45～49	455	8.4	453	2	136	216	0	394	52	5	4	0.9	4	100.0	0	2	0	0	2	
50～54	533	9.8	512	21	125	276	0	452	68	5	8	1.5	8	100.0	0	2	1	0	5	
55～59	483	8.9	441	42	120	241	0	389	76	3	15	3.1	13	86.7	1	3	0	0	9	
60～64	575	10.6	521	54	193	254	0	422	119	7	27	4.7	26	96.3	1	9	0	0	16	
65～69	1007	18.5	906	101	348	462	0	732	212	29	34	3.4	33	97.1	1	8	1	0	23	
70～74	1020	18.8	921	99	170	649	0	662	299	19	40	3.9	39	97.5	1	8	0	0	30	
75～79	570	10.5	517	53	59	357	0	333	196	18	23	4.0	22	95.7	0	5	0	0	17	
80～84	266	4.9	246	20	32	182	0	146	102	9	9	3.4	9	100.0	0	3	0	0	6	
85～	90	1.7	87	3	9	57	0	42	38	2	8	8.9	8	100.0	0	1	0	0	7	
計	5435	100.0	5040	395	1415	2870	0	3949	1205	101	180	3.3	170	94.4	4	44	2	0	120	
【女】																				
～29	1	0.0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
30～34	6	0.1	6	0	2	4	0	6	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
35～39	37	0.4	37	0	24	12	0	34	2	0	1	2.7	1	100.0	0	0	0	0	1	
40～44	774	8.5	774	0	480	168	0	714	50	4	6	0.8	6	100.0	0	3	0	0	3	
45～49	1069	11.8	1068	1	321	365	0	931	106	7	25	2.3	24	96.0	0	6	1	0	17	
50～54	1236	13.6	1218	18	330	438	0	1063	138	13	22	1.8	22	100.0	0	7	0	0	15	
55～59	991	10.9	979	12	236	426	0	814	146	11	20	2.0	20	100.0	0	10	0	0	10	
60～64	1110	12.2	1096	14	275	475	0	837	240	14	19	1.7	19	100.0	0	3	0	0	16	
65～69	1288	14.2	1274	14	296	628	0	970	272	18	28	2.2	28	100.0	2	7	0	0	19	
70～74	1535	16.9	1522	13	218	837	0	1056	409	30	40	2.6	38	95.0	1	7	0	0	30	
75～79	669	7.4	668	1	82	401	0	412	231	13	13	1.9	11	84.6	0	5	0	0	6	
80～84	281	3.1	277	4	35	153	0	179	83	10	9	3.2	8	88.9	0	2	0	0	6	
85～	81	0.9	81	0	10	45	0	41	35	4	1	1.2	1	100.0	0	0	0	0	1	
計	9078	100.0	9001	77	2310	3952	0	7058	1712	124	184	2.0	178	96.7	3	50	1	0	124	

注\* X線判定区分 A: 読影不能 B: 異常所見を認めず C: 異常所見を認めるも精検不要 D: 異常所見を認めるも肺がん以外 E: 肺がん疑い

5-1 (1) 大腸がん（便潜血）検診結果集計表

対象検診期間： 令和3年04月01日～令和4年03月31日

	受診数	陽性数	要精検率 (%)	精検 受診 (%)	精検受診率 (%)	精検結果			がん症例の治療			39才以下の割合	初回割合			
						大腸がん(うち早期がん)	腺腫	その他の隆起	憩室他異常なし	早期手術	ボリパク進歩トミニ治療切除			不明		
地域合計 (24市町村)	21252	948	4.5	781	82.4	58	319	92	140	172	12	36	10	0	0.4	20.1
職域合計 (88団体)	7665	291	3.8	209	71.8	10	81	24	27	67	2	7	1	0	16.1	15.9
検診友の会等 合計	303	9	3.0	7	77.8	0	3	0	1	3	0	0	0	0	14.2	15.5
総合計	29220	1248	4.3	997	79.9	68	403	116	168	242	14	43	11	0	4.6	19.0

5- (2) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [地域]

対象検診期間： 令和3年04月01日～令和4年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前 受診歴	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	大腸がん		精 検 率 (%)		結 腸 腫 瘍	その他 隆起	その他	異常なし		
										大腸がん 率(%)	うち早期がん	率(%)	率(%)						
【男】																			
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	
30～34	9	0.1	6	3	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	
35～39	20	0.3	18	0	2	1	5.0	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	0	0	
40～44	422	5.4	262	110	50	15	3.6	10	66.7	0	0.00	0	0.00	0	2	2	2	6	
45～49	556	7.1	167	234	155	32	5.8	23	71.9	1	0.18	1	0.18	10	4	3	3	5	
50～54	651	8.3	140	298	213	34	5.2	25	73.5	0	0.00	0	0.00	12	2	5	6	6	
55～59	605	7.7	140	294	171	26	4.3	20	76.9	2	0.33	2	0.33	10	2	4	2	2	
60～64	823	10.5	264	362	197	36	4.4	31	86.1	5	0.61	5	0.61	18	1	3	4	4	
65～69	1532	19.5	413	736	383	99	6.5	78	78.8	9	0.59	9	0.59	44	6	12	7	7	
70～74	1732	22.1	171	1140	421	111	6.4	95	85.6	9	0.52	9	0.52	52	10	14	10	10	
75～79	905	11.5	65	597	243	55	6.1	48	87.3	5	0.55	4	0.44	21	7	10	5	5	
80～84	420	5.4	19	293	108	28	6.7	24	85.7	3	0.71	3	0.71	11	3	4	3	3	
85～	164	2.1	7	107	50	11	6.7	6	54.5	1	0.61	1	0.61	5	0	0	0	0	
計	7839	100.0	1672	4174	0	448	5.7	361	80.6	35	0.45	34	0.43	183	37	58	48	48	
【女】																			
～29	1	0.0	1	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0
30～34	9	0.1	7	1	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0
35～39	38	0.3	34	0	4	1	2.6	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1	1	1
40～44	1046	7.8	653	209	184	37	3.5	24	64.9	0	0.00	0	0.00	8	3	2	11	11	
45～49	1362	10.2	378	448	536	38	2.8	31	81.6	0	0.00	0	0.00	2	5	9	15	15	
50～54	1546	11.5	340	576	630	52	3.4	47	90.4	3	0.19	1	0.06	15	8	8	13	13	
55～59	1509	11.3	260	700	549	44	2.9	39	88.6	2	0.13	2	0.13	13	5	6	13	13	
60～64	1731	12.9	326	787	618	64	3.7	56	87.5	2	0.12	2	0.12	17	2	15	20	20	
65～69	2202	16.4	325	1176	701	81	3.7	73	90.1	4	0.18	2	0.09	28	13	9	19	19	
70～74	2431	18.1	192	1435	804	91	3.7	72	79.1	7	0.29	4	0.16	27	10	8	20	20	
75～79	1024	7.6	60	640	324	51	5.0	40	78.4	3	0.29	2	0.20	13	3	15	6	6	
80～84	408	3.0	15	246	147	26	6.4	25	96.2	2	0.49	1	0.25	7	5	6	5	5	
85～	106	0.8	9	58	39	15	14.2	12	80.0	0	0.00	0	0.00	6	1	4	1	1	
計	13413	100.0	2600	6276	4537	500	3.7	420	84.0	23	0.17	14	0.10	136	55	82	124	124	

5- (3) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [職域]

対象検診期間： 令和3年04月01日～令和4年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前 受診歴	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	大腸がん		精 検 率 (%)		結 果 腺腫	その他 隆起	その他 異常なし	
										受診数	割合 (率)	受診数	割合 (率)				
【男】																	
～29	78	1.7	30	45	3	2	2.6	2	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	1
30～34	144	3.2	49	84	11	5	3.5	2	40.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	1
35～39	452	10.1	131	289	32	15	3.3	13	86.7	0	0.00	0	0.00	0	0	4	4
40～44	578	12.9	106	407	65	21	3.6	13	61.9	1	0.17	1	0.17	4	2	1	5
45～49	721	16.1	93	551	77	30	4.2	22	73.3	0	0.00	0	0.00	9	2	1	9
50～54	788	17.6	73	628	87	33	4.2	22	66.7	0	0.00	0	0.00	13	3	2	4
55～59	644	14.4	64	510	70	27	4.2	20	74.1	1	0.16	1	0.16	7	8	2	2
60～64	580	13.0	58	469	53	27	4.7	20	74.1	3	0.52	3	0.52	9	2	1	5
65～69	311	7.0	35	227	49	18	5.8	15	83.3	1	0.32	1	0.32	12	0	2	0
70～74	140	3.1	8	115	17	7	5.0	6	85.7	0	0.00	0	0.00	5	0	1	0
75～79	21	0.5	2	15	4	1	4.8	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
80～84	6	0.1	1	5	0	1	16.7	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1
85～	6	0.1	1	5	0	1	16.7	1	100.0	0	0.00	0	0.00	1	0	0	0
計	4469	100.0	651	3350	468	188	4.2	137	72.9	6	0.13	6	0.13	65	17	17	32
【女】																	
～29	83	2.6	33	48	2	6	7.2	3	50.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	2
30～34	151	4.7	55	82	14	4	2.6	1	25.0	0	0.00	0	0.00	0	1	0	0
35～39	323	10.1	118	177	28	10	3.1	6	60.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	5
40～44	409	12.8	84	277	48	12	2.9	8	66.7	1	0.24	1	0.24	0	0	1	6
45～49	563	17.6	74	406	83	13	2.3	12	92.3	2	0.36	1	0.18	4	1	1	4
50～54	632	19.8	85	468	79	20	3.2	16	80.0	1	0.16	1	0.16	5	1	0	9
55～59	494	15.5	66	359	69	13	2.6	11	84.6	0	0.00	0	0.00	4	2	2	3
60～64	343	10.7	34	255	54	16	4.7	10	62.5	0	0.00	0	0.00	2	1	2	5
65～69	120	3.8	15	91	14	4	3.3	3	75.0	0	0.00	0	0.00	1	1	1	0
70～74	61	1.9	4	42	15	2	3.3	1	50.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1
75～79	12	0.4	2	7	3	2	16.7	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
80～84	2	0.1	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
85～	3	0.1	1	1	1	1	33.3	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	0
計	3196	100.0	571	2215	410	103	3.2	72	69.9	4	0.13	3	0.06	16	7	10	35

5- (4) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [検診友の会等]

対象検診期間： 令和3年04月01日～令和4年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 受診数	精検受診率 (%)	大腸がん		うち早期がん		精 検 率 (%)	結 果 腺腫	その他 隆起	その他 異常なし	
										率 (%)	数	率 (%)	数					
【男】																		
～29	6	3.6	0	6	0	1	16.7	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
30～34	11	6.5	6	4	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
35～39	13	7.7	3	7	3	1	7.7	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	1
40～44	11	6.5	4	7	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
45～49	21	12.5	3	15	3	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
50～54	14	8.3	3	10	1	1	7.1	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
55～59	13	7.7	0	11	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
60～64	24	14.3	2	20	2	1	4.2	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0.00	1	0	0	0
65～69	14	8.3	1	9	4	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
70～74	17	10.1	1	13	3	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
75～79	14	8.3	2	11	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
80～84	9	5.4	0	9	0	1	11.1	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	1	0
85～	1	0.6	0	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
計	168	100.0	25	123	20	5	3.0	3	60.0	0	0.00	0	0.00	0.00	1	0	1	1
【女】																		
～29	2	1.5	2	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
30～34	1	0.7	1	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
35～39	10	7.4	5	4	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
40～44	16	11.9	7	6	3	1	6.3	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	1
45～49	13	9.6	3	9	1	1	7.7	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0.00	1	0	0	0
50～54	12	8.9	2	7	3	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
55～59	9	6.7	0	7	2	1	11.1	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	1
60～64	15	11.1	0	12	3	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
65～69	16	11.9	1	13	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
70～74	17	12.6	0	13	4	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
75～79	13	9.6	1	11	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
80～84	7	5.2	0	6	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0	0	0
85～	4	3.0	0	3	1	1	25.0	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0.00	1	0	0	0
計	135	100.0	22	91	22	4	3.0	4	100.0	0	0.00	0	0.00	0.00	2	0	0	2

5- (5) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [総合計]

対象検診期間：令和3年04月01日～令和4年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前 受診歴	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 受診数	精検受診率 (%)	大腸がん		精 率(%)		結 果 腺腫	その他 隆起	その他	異常なし	
										大腸がん 数	率(%)	うち早期がん 数	率(%)					
【男】																		
～29	84	0.7	30	51	3	3.6	2	66.7	0	0.00	0	0	0	0	0	1	1	
30～34	164	1.3	61	91	12	3.0	2	40.0	0	0.00	0	0	0	0	0	1	1	
35～39	485	3.9	152	296	37	3.5	15	88.2	0	0.00	0	0	0	0	0	5	5	
40～44	1011	8.1	372	524	115	3.6	23	63.9	1	0.10	1	4	4	4	3	3	11	
45～49	1298	10.4	263	800	235	4.8	45	72.6	1	0.08	1	6	6	6	5	5	14	
50～54	1453	11.6	216	936	301	4.7	47	69.1	0	0.00	0	5	5	5	7	7	10	
55～59	1262	10.1	204	815	243	4.2	40	75.5	3	0.24	3	10	10	6	6	4	4	
60～64	1427	11.4	324	851	252	4.5	52	81.3	8	0.56	8	3	3	3	4	4	9	
65～69	1857	14.9	449	972	436	6.3	93	79.5	10	0.54	10	6	6	6	14	14	7	
70～74	1889	15.1	180	1268	441	6.2	101	85.6	9	0.48	9	10	10	10	15	15	10	
75～79	940	7.5	69	623	248	6.0	48	85.7	5	0.53	4	4	4	4	10	10	5	
80～84	435	3.5	20	307	108	6.9	26	86.7	3	0.69	3	3	3	3	5	5	4	
85～	171	1.4	8	113	50	7.0	7	58.3	1	0.58	1	0	0	0	0	0	0	
計	12476	100.0	2348	7647	2481	5.1	501	78.2	41	0.33	40	54	54	249	76	81	81	
【女】																		
～29	86	0.5	36	48	2	7.0	3	50.0	0	0.00	0	0	0	0	1	2	2	
30～34	161	1.0	63	83	15	2.5	1	25.0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	
35～39	371	2.2	157	181	33	3.0	7	63.6	0	0.00	0	0	0	0	1	6	6	
40～44	1471	8.8	744	492	235	3.4	33	66.0	1	0.07	1	3	3	8	3	18	18	
45～49	1938	11.6	455	863	620	2.7	44	84.6	2	0.10	2	6	6	7	10	19	19	
50～54	2190	13.1	427	1051	712	3.3	63	87.5	4	0.18	4	9	9	20	8	22	22	
55～59	2012	12.0	326	1066	620	2.9	51	87.9	2	0.10	2	7	7	17	8	17	17	
60～64	2089	12.5	360	1054	675	3.8	66	82.5	2	0.10	2	3	3	19	17	25	25	
65～69	2338	14.0	341	1280	717	3.6	76	89.4	4	0.17	4	14	14	29	10	19	19	
70～74	2509	15.0	196	1490	823	3.7	73	78.5	4	0.28	4	10	10	27	8	21	21	
75～79	1049	6.3	63	658	328	5.1	40	75.5	2	0.29	2	3	3	13	15	6	6	
80～84	417	2.5	15	254	148	6.2	25	96.2	2	0.18	2	5	5	7	6	5	5	
85～	113	0.7	10	62	41	15.0	14	82.4	0	0.00	0	1	1	7	5	1	1	
計	16744	100.0	3193	8582	4969	3.6	496	81.7	27	0.16	17	62	62	154	92	161	161	

5- (6) 大腸がん精検機関別精検受診数 (令和3年度)

		精 検 機 関				計
		大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関	精 検 機 関	総	
地 域	X線受診	0	0	0	0	
	内視鏡受診	0	714	714	714	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 ( 0.0 )	781 ( 100.0 )	781 ( 100.0 )	781 ( 100.0 )	
職 域	X線受診	0	0	0	0	
	内視鏡受診	0	208	208	208	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 ( 0.0 )	209 ( 100.0 )	209 ( 100.0 )	209 ( 100.0 )	
検 査 友 の 会 等	X線受診	0	0	0	0	
	内視鏡受診	0	7	7	7	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 ( 0.0 )	7 ( 100.0 )	7 ( 100.0 )	7 ( 100.0 )	
合 計	X線受診	0	0	0	0	
	内視鏡受診	0	929	929	929	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 ( 0.0 )	997 ( 100.0 )	997 ( 100.0 )	997 ( 100.0 )	

5- (7) 市町村別大腸がん検診精密検査機関 (令和3年度)

市町村名	要精検数	精検受診数(率)	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
豊能町	16	15 ( 93.8 )	0	12	0	0	3
能勢町	32	24 ( 75.0 )	0	12	0	2	10
吹田市	48	33 ( 68.8 )	0	15	6	4	8
摂津市	1	1 ( 100.0 )	0	0	0	1	0
門真市	7	5 ( 71.4 )	0	1	2	0	2
四條畷市	2	1 ( 50.0 )	0	1	0	0	0
八尾市(施設)	9	8 ( 88.9 )	0	0	0	6	2
柏原市	58	49 ( 84.5 )	0	22	5	18	4
柏原市(施設)	8	8 ( 100.0 )	0	5	0	3	0
松原市	66	47 ( 71.2897 )	0	0	21	20	6
羽曳野市	116	104 ( 100.0 )	0	14	32	41	17
羽曳野市(施設)	2	2 ( 86.0 )	0	0	0	0	2
藤井寺市	114	98 ( 100.0 )	0	18	8	65	7
藤井寺市(施設)	4	4 ( 88.2 )	0	1	0	3	0
太子町	17	15 ( 100.0 )	0	1	9	3	2
千早赤阪村	9	9 ( 72.0 )	0	4	5	0	0
河内長野市	25	22 ( 88.0 )	0	10	2	0	10
泉大津市	78	59 ( 74.5 )	0	39	7	9	4
高石市	51	38 ( 79.6 )	0	3	17	17	1
貝塚市	54	43 ( 86.4 )	0	26	7	1	9
熊取町	44	38 ( 81.6 )	0	20	10	1	7
泉南市	38	31 ( 88.9 )	0	3	18	6	4
岬町	18	16 ( 87.1 )	0	6	9	0	1
大阪府	70	61 ( 83.3 )	0	16	15	21	9
大阪府国保(ドック)	6	5 ( 82.4 )	0	2	3	0	0
大阪府国保(無料ドック)	17	14 ( 81.6 )	0	1	5	6	2
大阪府国保(特定ドック)	38	31 ( 82.6 )	0	3	11	14	3
合計	948	781 ( 82.4 )	0	235	192	241	113

註) 公的病院に大学附属病院を含む

## 編 集 後 記

2020年初めから中国武漢市から端を発した新型コロナウイルス感染症Covid-19は丸3年を経過し、2023年に入ってから感染者数は減少に転じ、収束の傾向がみられます。それに伴って、3/13にはマスクの活用ルールが緩和され個人の判断となりました。さらに、5/8から感染症法上の類型が2類から5類へと移行されることとなります。

さて、2021年（令和3年）度は、第2期中期経営計画（H29～R3）の最終年度の5年目にあたります。その中で公益財団法人として、がんならびに循環器疾患の予防に関する、さらなる専門性の向上と受診者へのサービス充実に向けた効率的かつ効果的な事業の展開ならびに法人経営の自立化を目指しております。

施設におきましては、5がん（胃、大腸、肺、乳、子宮）を中心に、きっちりとした精度管理の下、がん検診を行うとともに、より低侵襲で根治できるよう、早期がん発見のために、大腸CT検査などの新たな検査法や子宮頸がん前がん病変のレーザー治療などの導入にも積極的に取り組んでおります。

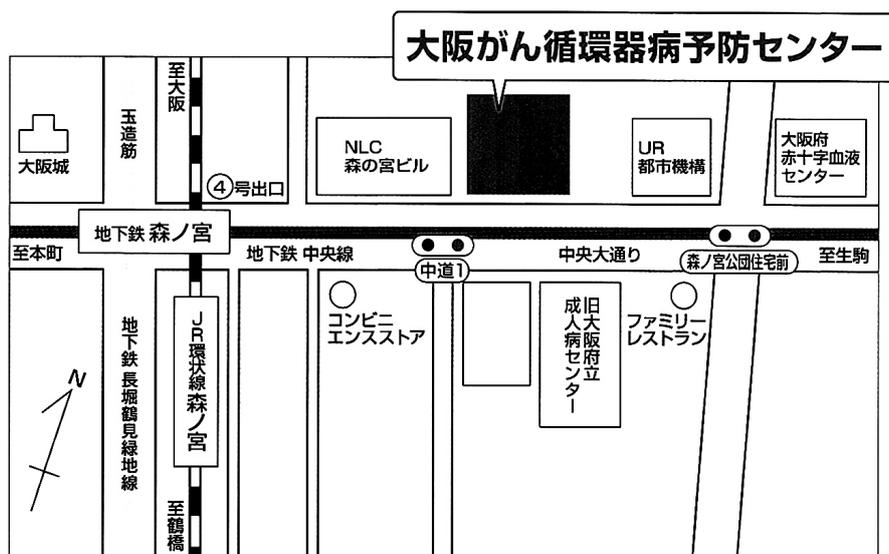
一方、健康で豊かな超高齢社会の実現に向けて、生活習慣病予備群の早期発見とその予防のための日常生活の指導が重要です。保健指導、特定保健指導を健診当日に受けていただけるよう努めてまいります。

本年4月以降、循環器病予防部門は当センター向かいの大阪健康安全基盤研究所（大安研）に移管されますが、循環器検診はがん検診と同様に今後も引き続き実施いたします。精度の高い健診・検診を行うための技術の向上を図るとともに、受診者に喜んでいただけるような温かい健診・検診の提供に日々努めております。

私共の令和3年度の業績をまとめましたので、ご高覧頂けましたら幸いです。

令和5年3月

公益財団法人 大阪府保健医療財団  
大阪がん循環器病予防センター  
所長 伊藤 壽 記



<交通>

- JR環状線「森ノ宮」下車 北出口
- 地下鉄 中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車 ④号出口  
東へ徒歩2分

---

## 事業年報（令和3年度）

発行日 令和5年3月  
 編集・発行 大阪がん循環器病予防センター  
 〒536-8588 大阪市城東区森之宮1丁目6番107号  
 TEL 06(6964)0666(代)  
 FAX 06(6964)0665  
 URL <http://www.osaka-ganjun.jp>

印刷所 石川特殊特急製本株式会社

ISSN 2188-0093

---

